2022 年度

シ ラ バ ス

〔授業計画書〕

第 2 学年

松本歯科大学衛生学院

歯科衛生士学科

＜目　次＞

建学の理念 ・・・・・・・・・・・・・・・ 1
教育目標 等・・・・・・・・・・・・・・・ 2
履修基準表 ・・・・・・・・・・・・・・・ 3
年間予定表 ・・・・・・・・・・・・・・・ 4
時間割表 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

歯科予防処置論Ⅱ　【前・後】・・・ 7
歯科保健指導論Ⅱ　【前・後】・・・11
歯科診療補助論Ⅱ　【前・後】・・・15
保存修復・歯内療法学　【前】・・・・・19
歯周療法学　【前】・・・・・21
歯科補綴学　【前】・・・・・22
口腔外科学　【前】・・・・・23
小児歯科学　【前】・・・・・24
歯科矯正学　【前】・・・・・26
歯科放射線・歯科麻酔学【前】・・・・・27
障害者歯科学　【前】・・・・・29
高齢者歯科学　【前】・・・・・30
摂食・嚥下学　【前】・・・・・31
歯科英語　【前】・・・・・32
キャリアデザイン　【前】・・・・・33
衛生行政・社会福祉　【後】・・・35
医療事務（歯科）　【後】・・・36
臨地実習Ⅰ　【後】・・・38

建 学 の 理 念

佐久間象山　福沢諭吉両先生の学訓に従い
国手的精神に立脚し
教育と研究の有機的結合を強固にして大学の本質を常に究め
近代民主主義の本源的価値観と世界観を確立し
人間の尊厳を認識せしめつつ民主主義的人格を陶冶し
深遠な真理を追求しつつ科学思想昂揚の完璧を期するにある
過去より未来を通じての現代の世界史的位置を認識せしめ
偉大な人類の業績を讃えると共に
未来への方法と科学的展望を確立せしめる
教学一致の不断の研鑽と遠大な理想に基づき
輝ける高雅な環境の醸成につとめ
自治の尊厳を守り
芸術を尊び高度の情操を育成せしめる

創立者　矢崎康

松本歯科大学衛生学院

◇設置目的（松本歯科大学衛生学院学則 第１条）

松本歯科大学衛生学院は、歯科衛生士に必要な知識と技術を教授するとともに、豊かな人格を養い、社会に貢献できる有能な人材を育成することを目的とする。

◇教育目標

本学院は、温かく豊かな人間性と幅広い教養を備え、口腔保健の専門的知識と技術を持って広く人々の健康と幸福に貢献するとともに、地域や国際社会の保健・医療・福祉・健康の課題に柔軟に対応できる感性豊かで創造力をもった総合的な口腔保健の専門医療人を養成することを目指すものである。

◇ディプロマポリシー（卒業認定に関する方針）

1. 歯科衛生士として豊かな人間性と専門性を身につけ、社会に貢献できる
2. 歯科衛生士に必要な専門知識と技術を備え、口腔の健康を支援することができる
3. 歯科衛生士としてのコミュニケーション能力を有し、多職種との協働ができる
4. 歯科医療の進歩、社会構造の変化などに柔軟に対応し、自ら問題解決できる探求心を備えている

◇アドミッションポリシー（入学者受け入れ方針）

1. 歯科衛生士として人々の健康と幸福に寄与したいという目的意識をもっていること
2. 医療人にふさわしい温かい人間性を備えていること
3. 豊かな感性と学問への情熱を有していること
4. 専門家としての知識と技術を学ぶために必要な基礎力を身につけていること

履修基準表

	教育内容	授業科目	授業方法	履修区分	単位数	時間数	履修年次及び授業時間数		
							1年	2年	3年
基礎分野	科学的思考の基盤 人間と生活	口腔生命科学入門Ⅰ	講義	必修	2	30	30		
		口腔生命科学入門Ⅱ	講義	必修	2	30	30		
		歯科英語	講義	必修	2	30		30	
		医療コミュニケーション	演習	必修	2	30	30		
		言語表現	講義	必修	2	30	30		
小　計					10	150	120	30	0
専門基礎分野	人体(歯・口腔を除く)の構造と機能	人体の構造と機能Ⅰ	講義	必修	2	30	30		
		人体の構造と機能Ⅱ	講義	必修	2	30	30		
	歯・口腔の構造と機能	歯・口腔の構造と機能Ⅰ	講義	必修	4	60	60		
		歯・口腔の構造と機能Ⅱ	講義	必修	2	30	30		
	疾病の成り立ち及び回復過程の促進	病理学・口腔病理学	講義	必修	2	30	30		
		薬理学・歯科薬理学	講義	必修	2	30	30		
		微生物学・口腔微生物学	講義	必修	2	30	30		
	歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み	口腔衛生学Ⅰ	講義	必修	2	30	30		
		口腔衛生学Ⅱ	講義	必修	2	30	30		
		衛生学・公衆衛生学	講義	必修	2	30	30		
		衛生行政・社会福祉	講義	必修	2	30		30	
小　計					24	360	330	30	0
専門分野	歯科衛生士概論	歯科衛生士概論	講義	必修	2	30	30		
	臨床歯科医学	保存修復・歯内療法学	講義	必修	1	30		30	
		歯周療法学	講義	必修	1	30		30	
		歯科補綴学	講義	必修	1	30		30	
		口腔外科学	講義	必修	1	30		30	
		小児歯科学	講義	必修	1	30		30	
		歯科矯正学	講義	必修	1	30		30	
		歯科放射線・歯科麻酔学	講義	必修	1	30		30	
		障害者歯科学	講義	必修	1	30		30	
		高齢者歯科学	講義	必修	1	30		30	
		摂食・嚥下学	演習	必修	1	30		30	
	歯科予防処置論	歯科予防処置論Ⅰ	実習	必修	4	120	120		
		歯科予防処置論Ⅱ	実習	必修	3	90		90	
		歯科予防処置論Ⅲ	実習	必修	2	60			60
	歯科保健指導論	歯科保健指導論Ⅰ	演習	必修	2	60	60		
		歯科保健指導論Ⅱ	演習	必修	3	90		90	
		歯科保健指導論Ⅲ	演習	必修	2	60			60
		栄養学・栄養指導法	講義	必修	2	30	30		
	歯科診療補助論	歯科診療補助論Ⅰ	実習	必修	4	120	120		
		歯科診療補助論Ⅱ	実習	必修	3	90		90	
		歯科診療補助論Ⅲ	実習	必修	2	60			60
	臨地実習 (臨床実習を含む)	臨地実習Ⅰ	実習	必修	10	450		450	
		臨地実習Ⅱ	実習	必修	10	450			450
	歯科衛生士特論	歯科衛生士特論	講義	必修	8	240			240
小　計					67	2250	360	1020	870
選択必修分野		キャリアデザイン	演習	必修	2	30		30	
		医療事務（歯科）	講義	必修	4	70		70	
		健康管理	演習	必修	1	20			20
小　計					7	120	0	100	20
合　　計					108	2880	810	1180	890

2022 年度　年間予定表(前期)

2022年度　前期

4月			5月			6月			7月			8月			9月		
1	金		1	日		1	水		1	金		1	月	1・2・3年：夏季休業	1	木	
2	土		2	月		2	木		2	土		2	火	1・2・3年：夏季休業	2	金	
3	日		3	火	憲法記念日	3	金		3	日		3	水	1・2・3年：夏季休業	3	土	
4	月		4	水	みどりの日	4	土		4	月		4	木	1・2・3年：夏季休業	4	日	
5	火		5	木	こどもの日	5	日		5	火		5	金	1・2・3年：夏季休業	5	月	1・2年：前期定期試験
6	水		6	金		6	月		6	水		6	土	1・2・3年：夏季休業	6	火	1・2年：前期定期試験
7	木	入学式	7	土		7	火		7	木		7	日	1・2・3年：夏季休業	7	水	1・2年：前期定期試験
8	金	1・2年：オリエンテーション 1・2・3年：健康診断	8	日		8	水		8	金		8	月	1・2・3年：夏季休業	8	木	1・2年：前期定期試験
9	土		9	月		9	木		9	土		9	火	1・2・3年：夏季休業	9	金	1・2年：前期定期試験
10	日		10	火		10	金		10	日		10	水	1・2・3年：夏季休業	10	土	
11	月	1・3年：オリエンテーション 2年：授業開始	11	水		11	土		11	月		11	木	山の日 1・2・3年：夏季休業	11	日	
12	火	1年：オリエンテーション 3年：模擬試験	12	木	1・2・3年：合同実習	12	日		12	火		12	金	1・2・3年：夏季休業	12	月	1・2年：前期定期試験
13	水	1年：オリエンテーション 3年：授業開始	13	金		13	月		13	水		13	土	1・2・3年：夏季休業	13	火	1・2年：前期定期試験
14	木	1年：授業開始	14	土		14	火		14	木		14	日	1・2・3年：夏季休業	14	水	1・2年：前期定期試験
15	金		15	日		15	水		15	金		15	月	1・2・3年：夏季休業	15	木	1・2年：前期定期試験
16	土		16	月		16	木		16	土		16	火	1・2・3年：夏季休業	16	金	1・2年：前期定期試験
17	日		17	火		17	金		17	日		17	水	1・2・3年：夏季休業	17	土	
18	月		18	水		18	土		18	月	海の日	18	木	1・2・3年：夏季休業	18	日	
19	火		19	木	3年：医療事務ｾﾐﾅｰ	19	日		19	火	3年：夏季休業	19	金	1・2・3年：夏季休業	19	月	敬老の日
20	水		20	金		20	月		20	水	3年：夏季休業	20	土	1・2・3年：夏季休業	20	火	1年：前期追・再試験 2年：前期追・再試験、補習
21	木		21	土		21	火		21	木	3年：夏季休業	21	日	1・2・3年：夏季休業	21	水	1年：前期追・再試験 2年：前期追・再試験、補習
22	金		22	日		22	水		22	金	1・3年：夏季休業	22	月	2・3年：夏季休業	22	木	1年：前期追・再試験 2年：前期追・再試験、補習
23	土		23	月		23	木		23	土	1・2・3年：夏季休業	23	火	2・3年：夏季休業	23	金	秋分の日
24	日		24	火		24	金		24	日	1・2・3年：夏季休業	24	水	2年：夏季休業	24	土	
25	月		25	水	1年：病院見学	25	土		25	月	1・2・3年：夏季休業	25	木		25	日	
26	火		26	木		26	日		26	火	1・2・3年：夏季休業	26	金		26	月	1年：前期追・再試験 2年：前期追・再試験、補習 3年：前期定期試験
27	水		27	金		27	月		27	水	1・2・3年：夏季休業	27	土		27	火	1年：前期追・再試験 2年：前期追・再試験、補習 3年：前期定期試験
28	木		28	土		28	火		28	木	1・2・3年：夏季休業	28	日		28	水	1年：前期追・再試験 2年：前期追・再試験、補習
29	金	昭和の日 松濤祭(大学祭)	29	日	3年：医療事務技能審査試験	29	水		29	金	1・2・3年：夏季休業	29	月		29	木	1年：前期追・再試験 2年：前期追・再試験、補習
30	土		30	月		30	木		30	土	1・2・3年：夏季休業	30	火		30	金	1年：前期追・再試験 2年：前期追・再試験、補習
			31	火					31	日	1・2・3年：夏季休業	31	水				

2022 年度　年間予定表（後期）

10月			11月			12月			1月			2月			3月		
1	土		1	火		1	木		1	日	元旦 1・2・3年：冬季休業	1	水		1	水	1年：後期追・再試験、補習
2	日		2	水		2	金		2	月	振替休日 1・2・3年：冬季休業	2	木		2	木	1年：後期追・再試験、補習
3	月	2年：登院試験	3	木	文化の日	3	土		3	火	1・2・3年：冬季休業	3	金		3	金	1年：後期追・再試験、補習
4	火	2年：登院試験	4	金		4	日		4	水	1・2・3年：冬季休業	4	土		4	土	
5	水	2年：登院試験	5	土		5	月		5	木	1・2・3年：冬季休業	5	日		5	日	
6	木	2年：登院試験	6	日		6	火		6	金	1年：冬季休業 3年：後期定期試験Ⅱ	6	月	1年：後期定期試験	6	月	1年：後期追・再試験、補習 2年：後期定期試験
7	金	2年：登院試験	7	月		7	水		7	土		7	火	1年：後期定期試験	7	火	1年：後期追・再試験、補習 2年：後期定期試験
8	土		8	火		8	木		8	日		8	水	1年：後期定期試験	8	水	1年：後期追・再試験、補習 2年：後期追・再試験
9	日		9	水		9	金		9	月	成人の日	9	木	卒業証書授与式	9	木	1年：後期追・再試験、補習 2年：後期追・再試験
10	月	ｽﾎﾟｰﾂの日	10	木		10	土		10	火	3年：後期定期試験Ⅱ	10	金	1年：後期定期試験	10	金	1年：後期追・再試験、補習 2年：後期追・再試験
11	火	1年：月曜授業 2年：登院試験	11	金		11	日		11	水	3年：後期定期試験Ⅱ	11	土	建国記念日	11	土	
12	水	戴帽式	12	土		12	月		12	木		12	日		12	日	
13	木	2年：臨地実習ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ	13	日		13	火		13	金		13	月	1年：後期定期試験	13	月	2年：後期追・再試験
14	金	2年：臨地実習ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ	14	月		14	水		14	土	ﾌｧｳﾝﾀﾞｰｽﾞﾃﾞｲ	14	火	1年：後期定期試験	14	火	2年：模擬試験
15	土		15	火		15	木		15	日		15	水	1年：後期定期試験	15	水	
16	日		16	水		16	金	3年：後期定期試験Ⅰ	16	月		16	木	1年：後期定期試験	16	木	（教員会 予定）
17	月	2年：臨地実習ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ	17	木		17	土		17	火	3年：後期追・再試験	17	金	1年：後期定期試験	17	金	
18	火	2年：臨地実習ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ	18	金		18	日		18	水	3年：後期追・再試験	18	土		18	土	
19	水	2年：臨地実習ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ	19	土		19	月	3年：後期定期試験Ⅰ	19	木	3年：後期追・再試験	19	日		19	日	
20	木	2年：臨地実習ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ	20	日		20	火		20	金		20	月	1年：後期定期試験	20	月	
21	金	2年：臨地実習ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ	21	月		21	水		21	土		21	火	1年：後期定期試験	21	火	春分の日
22	土		22	火		22	木		22	日		22	水	1年：後期定期試験	22	水	
23	日		23	水	勤労感謝の日	23	金	1・2・3年：冬季休業	23	月		23	木	天皇誕生日	23	木	
24	月	2年：臨地実習ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ	24	木		24	土	1・2・3年：冬季休業	24	火	（教員会 予定）	24	金	1年：後期追・再試験、補習	24	金	
25	火		25	金		25	日	1・2・3年：冬季休業	25	水		25	土		25	土	
26	水		26	土		26	月	1・2・3年：冬季休業	26	木		26	日		26	日	
27	木		27	日		27	火	1・2・3年：冬季休業	27	金		27	月	1年：後期追・再試験、補習	27	月	
28	金		28	月		28	水	1・2・3年：冬季休業	28	土		28	火	1年：後期追・再試験、補習	28	火	
29	土		29	火		29	木	1・2・3年：冬季休業	29	日	創立記念日				29	水	
30	日		30	水		30	金	1・2・3年：冬季休業	30	月					30	木	
31	月					31	土	1・2・3年：冬季休業	31	火					31	金	

松本歯科大学衛生学院　歯科衛生士学科　2022年度　第2学年時間割

		4月					5月					6月					7月					8月					9月				
			4	11	18	25	2	9	16	23	30	6	13	20	27	4	11	18	25	1	8	15	22	29	5	12	19	26
月	1			①保	存	修	復	学	・	歯	内	療	法	学					夏季休業					⑮	前期試験		敬老の日	前期追・再試験 補習
	2			①歯	科	麻	酔	⑤学	①小	児	歯	科	学			⑧	摂食嚥下	海の日						キャリア				
	3			①キ	ャ	リ	ア	デ	ザ	イ	ン						診療補助							⑮				
	4			①歯	科	診	療	補	助	論	Ⅱ						キャリア							⑮				
火	1		5	①歯	科	矯	憲法記念日	正	学										夏季休業					⑮	前期試験		前期追・再試験 補習	
	2			①高	齢	者		科	学															⑮				
	3			①小	基礎学習	児		歯	④科	①基	礎	学	習											⑩				
	4			①歯	科	補		綴	学															⑮				
水	1		6	①歯	科	英	みどりの日	語											夏季休業					⑮	前期試験		前期追・再試験 補習	
	2			①口	腔	外		科	学															⑮				
	3			①歯	周	療		法	学															⑮				
	4			①摂	基礎学習	食		・	保健指導	嚥	下	学	基礎学習					基礎学習						⑪				
木	1		7	①歯	科	診	こどもの日	療	補	助	論	Ⅱ							夏季休業					⑮	前期試験		前期追・再試験 補習	
	2	入学式		①基	礎	学		習	・	小	テ	ス	ト											⑮				
	3			①障	害	者		歯	科	学														⑮				
	4			摂食嚥下	摂食嚥下	保健指導		合同実習	摂食嚥下	①歯	科	放	射	線	学									⑩				
金	1		8	①歯	科	昭和の日	保	健	指	導	論	Ⅱ						△	夏季休業					⑮	前期試験		秋分の日	前期追・再試験 補習
	2	オリエンテーション		①歯	科		保	健	指	導	論	Ⅱ						△						⑮				
	3			①歯	科		予	防	処	置	論	Ⅱ						小児歯科						⑮				
	4			①歯	科		予	防	処	置	論	Ⅱ						小児歯科						⑮				

		10月				11月				12月				1月				2月				3月			
		3	10	17	24	31	7	14	21	28	5	12	19	26	2	9	16	23	30	6	13	20	27	6	13	20	27
月	1	登院試験	スポーツの日	臨地実習	オリエンテーション									冬季休業		成人の日								後期試験	後期追・再試験		
	2																										
	3																										
	4																										
火	1	登院試験		臨地実習	オリエンテーション									冬季休業										後期試験	模擬試験	春分の日	
	2																										
	3																										
	4																										
水	1	登院試験	戴帽式	臨地実習	オリエンテーション	保健指導	予防処置	予防処置	①医	勤労感謝の日	療	事	務	冬季休業					⑩	医療試験	予防処置	予防処置		後期追・再試験			
	2					①衛	生	行	政		・	社	会	福		祉						⑮	保健指導				
	3					予防処置						予防処置		予防処置							予防処置						
	4					予防処置						保健指導		保健指導							診療補助						
木	1	登院試験	臨地実習	オリエンテーション			文化の日							冬季休業					卒業証書授与式			天皇誕生日		後期追・再試験			
	2																										
	3																										
	4							13.5						14					13								
金	1	登院試験	臨地実習	オリエンテーション		①医	療	事	務					冬季休業						⑭	予防処置			後期追・再試験			
	2					①医	療	事	務											⑭	保健指導						
	3					予防処置	①歯	科	保	△	健	指	導		論	⑧Ⅱ	①予	防	処	④置							
	4					①診	補	(臨	検)	⑤	①診	補	(看		護	学)	⑥	①診	補	③			13.5				

科 目 名			担当教員		
歯科予防処置論Ⅱ			**竹岡亜紀** 〔授業補助〕島田陽子、三村杏奈、髙山きよ江		
学年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員による授業科目
2	前・後期	3	90	実習	○

授業の目的(GIO)	口腔保健管理に必要な基礎知識・技術をもとに、患者個人の口腔に応じた口腔ケアのプランニングから実践までの技法を習得する。
教科書	最新歯科衛生士教本「歯科予防処置論・歯科保健指導論 第 2 版」(医歯薬出版) 最新歯科衛生士教本「歯周病学 第 2 版」(医歯薬出版)
成績評価	定期試験の結果および実習記録等の提出状況と内容を評価する。出席状況と授業態度も評価に加味する。
実務経験のある教員及び実務経験職種	歯科衛生士:竹岡亜紀
実務経験を踏まえた授業の内容	歯科衛生士として病院に勤務した経験を活かし、患者個人の口腔に応じた口腔ケアのプランニングから実践までの技法を習得させる。

回数	日付	項 目	講 義 内 容	学 習 到 達 目 標	担当
1	4/15	フッ化物塗布 相互実習 3	フッ化物塗布③ (フルオールゼリー®)	1. 実習の手順を理解できる。 2. 使用器材を準備できる。 3. 全顎のフッ化物塗布を実施できる。 4. 塗布後の注意事項を患者に分かりやすく説明できる。 5. 患者の安全への配慮ができる。 6. 処置の後片付けができる。 7. 実習記録を作成できる。	竹岡
2	4/15	フッ化物塗布 相互実習 4	フッ化物塗布④ (フルオールゼリー®)	1. 実習の手順を理解できる。 2. 使用器材を準備できる。 3. 全顎のフッ化物塗布を実施できる。 4. 塗布後の注意事項を患者に分かりやすく説明できる。 5. 患者の安全への配慮ができる。 6. 処置の後片付けができる。 7. 実習記録を作成できる。	竹岡
3	4/22	口腔内診査・PCR 相互実習 3	口腔内診査③ ・歯列不正 ・歯肉・粘膜の性状 ・沈着物・付着物 ・う 蝕 ・修復物・補綴物 染色・PCR 診査③	1. 実習の手順を理解できる。 2. 使用器材を準備できる。 3. 診査を実施して口腔内の状態を把握できる。 4. 歯垢染色を実施できる。 5. 診査の結果を記録できる。 6. 患者の安全への配慮ができる。 7. 処置の後片付けができる。 8. 実習記録を作成できる。	竹岡
4	4/22	口腔内診査・PCR 相互実習 4	口腔内診査④ ・歯列不正 ・歯肉・粘膜の性状 ・沈着物・付着物 ・う 蝕 ・修復物・補綴物 染色・PCR 診査④	1. 実習の手順を理解できる。 2. 使用器材を準備できる。 3. 診査を実施して口腔内の状態を把握できる。 4. 歯垢染色を実施できる。 5. 診査の結果を記録できる。 6. 患者の安全への配慮ができる。 7. 処置の後片付けができる。 8. 実習記録を作成できる。	竹岡
5	5/6	口腔内診査・PCR 相互実習 7	口腔内診査⑦ ・歯列不正 ・歯肉・粘膜の性状 ・沈着物・付着物 ・う 蝕 ・修復物・補綴物 染色・PCR 診査⑦	1. 実習の手順を理解できる。 2. 使用器材を準備できる。 3. 診査を実施して口腔内の状態を把握できる。 4. 歯垢染色を実施できる。 5. 診査の結果を記録できる。 6. 患者の安全への配慮ができる。 7. 処置の後片付けができる。 8. 実習記録を作成できる。	竹岡

6	5/6	口腔内診査･PCR 相互実習 8	口腔内診査⑧ ・歯列不正 ・歯肉･粘膜の性状 ・沈着物･付着物 ・う　蝕 ・修復物･補綴物 染色･PCR 診査⑧	1. 実習の手順を理解できる。 2. 使用器材を準備できる。 3. 診査を実施して口腔内の状態を把握できる。 4. 歯垢染色を実施できる。 5. 診査の結果を記録できる。 6. 患者の安全への配慮ができる。 7. 処置の後片付けができる。 8. 実習記録を作成できる。	竹岡
7	5/13	プロービング 相互実習 3	プロービング（6 点法）②	1. 実習の手順を理解できる。 2. 使用器材を準備できる。 3. 全顎のプロービングを実施できる。 4. プロービングの結果を記録できる。 5. 患者の安全への配慮ができる。 6. 処置の後片付けができる。 7. 実習記録を作成できる。	竹岡
8	5/13	プロービング 相互実習 4	プロービング（6 点法）④	1. 実習の手順を理解できる。 2. 使用器材を準備できる。 3. 全顎のプロービングを実施できる。 4. プロービングの結果を記録できる。 5. 患者の安全への配慮ができる。 6. 処置の後片付けができる。 7. 実習記録を作成できる。	竹岡
9	5/20	PMTC 相互実習 3	PMTC①	1. PMTC の定義を説明できる。 2. 実習の手順を理解できる。 3. 使用器材を準備できる。 4. 全顎の PMTC を実施できる。 5. 患者の安全への配慮ができる。 6. 処置の後片付けができる。 7. 実習記録を作成できる。	竹岡
10	5/20	PMTC 相互実習 4			竹岡
11	5/27	PMTC 相互実習 7	PMTC②	1. PMTC の定義を説明できる。 2. 実習の手順を理解できる。 3. 使用器材を準備できる。 4. 全顎の PMTC を実施できる。 5. 患者の安全への配慮ができる。 6. 処置の後片付けができる。 7. 実習記録を作成できる。	竹岡
12	5/27	PMTC 相互実習 8			竹岡
13	6/3	PMTC 相互実習 11	PMTC③	1. PMTC の定義を説明できる。 2. 実習の手順を理解できる。 3. 使用器材を準備できる。 4. 全顎の PMTC を実施できる。 5. 患者の安全への配慮ができる。 6. 処置の後片付けができる。 7. 実習記録を作成できる。	竹岡
14	6/3	PMTC 相互実習 12			竹岡
15	6/10	スケーリング （下顎） 相互実習 3	下顎スケーリング①	1. 実習の手順を理解できる。 2. 使用器材を準備できる。 3. 部位と歯石の状態に適したスケーラーを選択できる。 4. 下顎のスケーリングを実施できる。 5. 患者とのコミュニケーションを工夫できる。 6. 患者の安全への配慮ができる。 7. 処置の後片付けができる。 8. 実習記録を作成できる。	竹岡
16	6/10	スケーリング （下顎） 相互実習 4			竹岡
17	6/17	スケーリング （下顎） 相互実習 7	下顎スケーリング②	1. 実習の手順を理解できる。 2. 使用器材を準備できる。 3. 部位と歯石の状態に適したスケーラーを選択できる。 4. 下顎のスケーリングを実施できる。 5. 患者とのコミュニケーションを工夫できる。 6. 患者の安全への配慮ができる。 7. 処置の後片付けができる。 8. 実習記録を作成できる。	竹岡
18	6/17	スケーリング （下顎） 相互実習 8			竹岡

19	6/24	スケーリング （下顎） 相互実習 11	下顎スケーリング③	1. 実習の手順を理解できる。 2. 使用器材を準備できる。 3. 部位と歯石の状態に適したスケーラーを選択できる。 4. 下顎のスケーリングを実施できる。 5. 患者とのコミュニケーションを工夫できる。 6. 患者の安全への配慮ができる。 7. 処置の後片付けができる。 8. 実習記録を作成できる。	竹岡
20	6/24	スケーリング （下顎） 相互実習 12			竹岡
21	7/1	スケーリング （上顎） 相互実習 3	上顎スケーリング①	1. 実習の手順を理解できる。 2. 使用器材を準備できる。 3. 部位と歯石の状態に適したスケーラーを選択できる。 4. 上顎のスケーリングを実施できる。 5. 患者とのコミュニケーションを工夫できる。 6. 患者の安全への配慮ができる。 7. 処置の後片付けができる。 8. 実習記録を作成できる。	竹岡
22	7/1	スケーリング （上顎） 相互実習 4			竹岡
23	7/8	スケーリング （上顎） 相互実習 7	上顎スケーリング②	1. 実習の手順を理解できる。 2. 使用器材を準備できる。 3. 部位と歯石の状態に適したスケーラーを選択できる。 4. 上顎のスケーリングを実施できる。 5. 患者とのコミュニケーションを工夫できる。 6. 患者の安全への配慮ができる。 7. 処置の後片付けができる。 8. 実習記録を作成できる。	竹岡
24	7/8	スケーリング （上顎） 相互実習 8			竹岡
25	7/15	スケーリング （上顎） 相互実習 11	上顎スケーリング③	1. 実習の手順を理解できる。 2. 使用器材を準備できる。 3. 部位と歯石の状態に適したスケーラーを選択できる。 4. 上顎のスケーリングを実施できる。 5. 患者とのコミュニケーションを工夫できる。 6. 患者の安全への配慮ができる。 7. 処置の後片付けができる。 8. 実習記録を作成できる。	竹岡
26	7/15	スケーリング （上顎） 相互実習 12			竹岡
27	8/26	超音波スケーラー 相互実習 3	超音波スケーリング③	1. 超音波スケーラーの構成･特徴を説明できる。 2. 実習の手順を理解できる。 3. 使用器材を準備できる。 4. 全顎の超音波スケーリングを実施できる。 5. 部位に適したバキューム操作ができる。 6. 患者の安全への配慮ができる。 7. 処置の後片付けができる。 8. 実習記録を作成できる。	竹岡
28	8/26	超音波スケーラー 相互実習 4	超音波スケーリング④		竹岡
29	9/2	超音波スケーラー 相互実習 7	超音波スケーリング⑦	1. 超音波スケーラーの構成･特徴を説明できる。 2. 実習の手順を理解できる。 3. 使用器材を準備できる。 4. 全顎の超音波スケーリングを実施できる。 5. 部位に適したバキューム操作ができる。 6. 患者の安全への配慮ができる。 7. 処置の後片付けができる。 8. 実習記録を作成できる。	竹岡
30	9/2	超音波スケーラー 相互実習 8	超音波スケーリング⑧		竹岡
31	10/26	復習･まとめ	第 1 学年～第 2 学年前期までの復習とまとめ	1. 履修内容を整理し要点を理解できる。 2. 自身の課題を明確にできる。	竹岡
32	10/26	シャープニング 1	1. 目的･必要性 2. 研磨用器具･器械の種類 3. 手用研磨器具	1. シャープニングの目的と必要性を説明できる。 2. 研磨用器具･器械を列挙できる。 3. 手用研磨に必要な器具を列挙できる。	竹岡
33	10/28	シャープニング 2	1. ストーンの種類･特徴 2. 研磨の原則 3. 研磨の手順	1. ストーンの種類と特徴を説明できる。 2. 操作の原則を説明できる。	竹岡
34	11/2	シャープニング 3	研磨実習① （ダル#13/14）	1. 刃部の形態的特徴を説明できる。 2. シャープニングの準備ができる。 3. シャープニングを実施できる。 4. 後片付けができる（ストーンの保管含む）。	竹岡
35	11/9	シャープニング 4	研磨実習② （ダル#13/14）	1. 刃部の形態的特徴を説明できる。 2. シャープニングの準備ができる。 3. シャープニングを実施できる。 4. 後片付けができる（ストーンの保管含む）。	竹岡

36	12/7	鋭匙型スケーラー マネキン （ロングネック）	スケーリング実習① （部位指定） ミニファイブの操作法	1. マネキン実習の準備ができる。 2. 部位に適したポジションを設定できる。 3. 部位に適した運動を判断してスケーラーを操作できる。 4. 適切なミラー操作ができる。 5. 取り残しの確認ができる。	竹岡
37	12/21	鎌･鋭匙型 スケーラー マネキン（復習）	スケーリング実習② （全顎より部位を選択）	1. マネキン実習の準備ができる。 2. 部位に適したポジションを設定できる。 3. 部位に適した運動を判断してスケーラーを操作できる。 4. 適切なミラー操作ができる。 5. 取り残しの確認ができる。	竹岡
38	1/20	う蝕予防処置法 5	1. う蝕予防処置復習 2. フッ化物味の比較 3. 綿球数の確認 4. FS 模型実習	1. フッ化物の安全性を説明できる。 2. フッ化物製剤の味の特徴を説明できる。 3. 模型上で FS を実施できる。	竹岡
39	1/27	フッ化物応用法	1. イオン導入に用いるフッ化物製剤 2. イオン導入器による実習	1. 使用製剤を説明できる。 2. イオン導入の手順を説明できる。 3. イオン導入の準備をして実施できる。	竹岡
40	2/3	手用スケーラー 相互実習（復習）1	スケーリング①	1. 実習の手順を理解できる。 2. 使用器材を準備できる。 3. 部位と歯石の状態に適したスケーラーを選択できる。 4. 指定部位のスケーリングを実施できる。 5. 患者とのコミュニケーションを工夫できる。 6. 患者の安全への配慮ができる。 7. 処置の後片付けができる。 8. 実習記録を作成できる。	竹岡
41	2/10	手用スケーラー 相互実習（復習）2	スケーリング②	1. 実習の手順を理解できる。 2. 使用器材を準備できる。 3. 部位と歯石の状態に適したスケーラーを選択できる。 4. 指定部位のスケーリングを実施できる。 5. 患者とのコミュニケーションを工夫できる。 6. 患者の安全への配慮ができる。 7. 処置の後片付けができる。 8. 実習記録を作成できる。	竹岡
42	2/15	手用スケーラー 相互実習（復習）3	スケーリング③	1. 実習の手順を理解できる。 2. 使用器材を準備できる。 3. 部位と歯石の状態に適したスケーラーを選択できる。 4. 指定部位のスケーリングを実施できる。 5. 患者とのコミュニケーションを工夫できる。 6. 患者の安全への配慮ができる。 7. 処置の後片付けができる。 8. 実習記録を作成できる。	竹岡
43	2/17	PTC 相互実習 （復習）1	PTC①	1. 実習の手順を理解できる。 2. 使用器材を準備できる。 3. 全顎の歯面清掃･研磨を実施できる。 4. 患者とのコミュニケーションを工夫できる。 5. 患者の安全への配慮ができる。 6. 処置の後片付けができる。 7. 実習記録を作成できる。	竹岡
44	2/22	PTC 相互実習 （復習）2	PTC②	1. 実習の手順を理解できる。 2. 使用器材を準備できる。 3. 全顎の歯面清掃･研磨を実施できる。 4. 患者とのコミュニケーションを工夫できる。 5. 患者の安全への配慮ができる。 6. 処置の後片付けができる。 7. 実習記録を作成できる。	竹岡
45	3/1	PTC 相互実習 （復習）3	PTC③	1. 実習の手順を理解できる。 2. 使用器材を準備できる。 3. 全顎の歯面清掃･研磨を実施できる。 4. 患者とのコミュニケーションを工夫できる。 5. 患者の安全への配慮ができる。 6. 処置の後片付けができる。 7. 実習記録を作成できる。	竹岡

科　目　名			担当教員		
歯科保健指導論Ⅱ			**島田陽子、三村杏奈** 〔授業補助〕竹岡亜紀、髙山きよ江		
学年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員による授業科目
2	前・後期	3	90	演習	○

授業の目的（GIO）	口腔保健の基礎知識を基に、ライフステージごとの歯科的特徴、生活習慣、全身との関連を理解し、患者個人の口腔に応じた口腔ケアのプランニングから実践までの技法を習得する。
教科書	最新歯科衛生士教本「歯科予防処置論・歯科保健指導論　第2版」（医歯薬出版） 最新歯科衛生士教本「　歯周病学第2版」（石薬出版）
成績評価	定期試験、実技試験の結果および実習記録等の提出状況と内容を評価する。出席状況と授業態度も評価に加味する。
実務経験のある教員及び実務経験職種	歯科衛生士：島田陽子、三村杏奈
実務経験を踏まえた授業の内容	歯科衛生士として実務経験のある教員が、ライフステージごとの歯科的特徴、生活習慣、全身との関連を理解させ、患者個人の口腔に応じた口腔ケアのプランニングから実践までの技法を習得させる。

回数	日付	項　目	講 義 内 容	学 習 到 達 目 標	担当
1	4/15	フッ化物塗布 相互実習 1	フッ化物塗布① （フルオールゼリー®）	1. 実習の手順を理解できる。 2. 使用器材を準備できる。 3. 全顎のフッ化物塗布を実施できる。 4. 塗布後の注意事項を患者に分かりやすく説明できる。 5. 患者の安全への配慮ができる。 6. 処置の後片付けができる。 7. 実習記録を作成できる。	三村
2	4/15	フッ化物塗布 相互実習 2	フッ化物塗布② （フルオールゼリー®）	1. 実習の手順を理解できる。 2. 使用器材を準備できる。 3. 全顎のフッ化物塗布を実施できる。 4. 塗布後の注意事項を患者に分かりやすく説明できる。 5. 患者の安全への配慮ができる。 6. 処置の後片付けができる。 7. 実習記録を作成できる。	三村
3	4/22	口腔内診査・PCR 相互実習 1	口腔内診査① ・歯列不正 ・歯肉・粘膜の性状 ・沈着物・付着物 ・う　蝕 ・修復物・補綴物 染色・PCR 診査①	1. 実習の手順を理解できる。 2. 使用器材を準備できる。 3. 診査を実施して口腔内の状態を把握できる。 4. 歯垢染色を実施できる。 5. 診査の結果を記録できる。 6. 患者の安全への配慮ができる。 7. 処置の後片付けができる。 8. 実習記録を作成できる。	三村
4	4/22	口腔内診査・PCR 相互実習 2	口腔内診査② ・歯列不正 ・歯肉・粘膜の性状 ・沈着物・付着物 ・う　蝕 ・修復物・補綴物 染色・PCR 診査②	1. 実習の手順を理解できる。 2. 使用器材を準備できる。 3. 診査を実施して口腔内の状態を把握できる。 4. 歯垢染色を実施できる。 5. 診査の結果を記録できる。 6. 患者の安全への配慮ができる。 7. 処置の後片付けができる。 8. 実習記録を作成できる。	三村
5	4/28	禁煙支援 1	喫煙と歯周病・全身との関連	1. 喫煙具の種類を概説できる。 2. 喫煙が及ぼす影響を概説できる。 3. 喫煙と全身の関連性を概説できる。 4. 喫煙に関連する口腔疾患を説明できる。 5. 喫煙と歯周病の関連性を説明できる。 6. 喫煙者へのアセスメント方法を説明できる。	三村
6	5/6	口腔内診査・PCR 相互実習 5	口腔内診査⑤ ・歯列不正 ・歯肉・粘膜の性状 ・沈着物・付着物 ・う　蝕 ・修復物・補綴物 染色・PCR 診査⑤	1. 実習の手順を理解できる。 2. 使用器材を準備できる。 3. 診査を実施して口腔内の状態を把握できる。 4. 歯垢染色を実施できる。 5. 診査の結果を記録できる。 6. 患者の安全への配慮ができる。 7. 処置の後片付けができる。 8. 実習記録を作成できる。	三村

7	5/6	口腔内診査･PCR 相互実習 6	口腔内診査⑥ ・歯列不正 ・歯肉･粘膜の性状 ・沈着物･付着物 ・う　蝕 ・修復物･補綴物 染色･PCR 診査⑥	1. 実習の手順を理解できる。 2. 使用器材を準備できる。 3. 診査を実施して口腔内の状態を把握できる。 4. 歯垢染色を実施できる。 5. 診査の結果を記録できる。 6. 患者の安全への配慮ができる。 7. 処置の後片付けができる。 8. 実習記録を作成できる。	三村
8	5/12	禁煙支援 2	喫煙者に対する指導	1. 問診票を用いて情報収集ができる。 2. 禁煙ステージの特徴を説明できる。 3. 禁煙支援のポイントを説明できる。 4. 禁煙治療を説明できる	三村
9	5/13	プロービング 相互実習 1	プロービング（6点法）①	1. 実習の手順を理解できる。 2. 使用器材を準備できる。 3. 全顎のプロービングを実施できる。 4. プロービングの結果を記録できる。 5. 患者の安全への配慮ができる。 6. 処置の後片付けができる。 7. 実習記録を作成できる。	三村
10	5/13	プロービング 相互実習 2	プロービング（6点法）②	1. 実習の手順を理解できる。 2. 使用器材を準備できる。 3. 全顎のプロービングを実施できる。 4. プロービングの結果を記録できる。 5. 患者の安全への配慮ができる。 6. 処置の後片付けができる。 7. 実習記録を作成できる。	三村
11	5/20	PMTC相互実習 1	PMTC①	1. PMTC の定義を説明できる。 2. 実習の手順を理解できる。 3. 使用器材を準備できる。 4. 全顎の PMTC を実施できる。 5. 患者の安全への配慮ができる。 6. 処置の後片付けができる。 7. 実習記録を作成できる。	三村
12	5/20	PMTC相互実習 2			三村
13	5/27	PMTC相互実習 5	PMTC②	1. PMTC の定義を説明できる。 2. 実習の手順を理解できる。 3. 使用器材を準備できる。 4. 全顎の PMTC を実施できる。 5. 患者の安全への配慮ができる。 6. 処置の後片付けができる。 7. 実習記録を作成できる。	三村
14	5/27	PMTC相互実習 6			三村
15	6/3	PMTC相互実習 9	PMTC③	1. PMTC の定義を説明できる。 2. 実習の手順を理解できる。 3. 使用器材を準備できる。 4. 全顎の PMTC を実施できる。 5. 患者の安全への配慮ができる。 6. 処置の後片付けができる。 7. 実習記録を作成できる。	三村
16	6/3	PMTC相互実習 10			三村
17	6/10	スケーリング （下顎） 相互実習 1	下顎スケーリング①	1. 実習の手順を理解できる。 2. 使用器材を準備できる。 3. 部位と歯石の状態に適したスケーラーを選択できる。 4. 下顎のスケーリングを実施できる。 5. 患者とのコミュニケーションを工夫できる。 6. 患者の安全への配慮ができる。 7. 処置の後片付けができる。 8. 実習記録を作成できる。	三村
18	6/10	スケーリング （下顎） 相互実習 2			三村
19	6/17	スケーリング （下顎） 相互実習 5	下顎スケーリング②	1. 実習の手順を理解できる。 2. 使用器材を準備できる。 3. 部位と歯石の状態に適したスケーラーを選択できる。 4. 下顎のスケーリングを実施できる。 5. 患者とのコミュニケーションを工夫できる。 6. 患者の安全への配慮ができる。 7. 処置の後片付けができる。 8. 実習記録を作成できる。	三村
20	6/17	スケーリング （下顎） 相互実習 6			三村

21	6/24	スケーリング （下顎） 相互実習 9	下顎スケーリング③	1. 実習の手順を理解できる。 2. 使用器材を準備できる。 3. 部位と歯石の状態に適したスケーラーを選択できる。 4. 下顎のスケーリングを実施できる。 5. 患者とのコミュニケーションを工夫できる。 6. 患者の安全への配慮ができる。 7. 処置の後片付けができる。 8. 実習記録を作成できる。	三村
22	6/24	スケーリング （下顎） 相互実習 10			三村
23	7/1	スケーリング （上顎） 相互実習 1	上顎スケーリング①	1. 実習の手順を理解できる。 2. 使用器材を準備できる。 3. 部位と歯石の状態に適したスケーラーを選択できる。 4. 上顎のスケーリングを実施できる。 5. 患者とのコミュニケーションを工夫できる。 6. 患者の安全への配慮ができる。 7. 処置の後片付けができる。 8. 実習記録を作成できる。	島田
24	7/1	スケーリング （上顎） 相互実習 2			島田
25	7/8	スケーリング （上顎） 相互実習 5	上顎スケーリング②	1. 実習の手順を理解できる。 2. 使用器材を準備できる。 3. 部位と歯石の状態に適したスケーラーを選択できる。 4. 上顎のスケーリングを実施できる。 5. 患者とのコミュニケーションを工夫できる。 6. 患者の安全への配慮ができる。 7. 処置の後片付けができる。 8. 実習記録を作成できる。	島田
26	7/8	スケーリング （上顎） 相互実習 6			島田
27	7/15	スケーリング （上顎） 相互実習 9	上顎スケーリング③	1. 実習の手順を理解できる。 2. 使用器材を準備できる。 3. 部位と歯石の状態に適したスケーラーを選択できる。 4. 上顎のスケーリングを実施できる。 5. 患者とのコミュニケーションを工夫できる。 6. 患者の安全への配慮ができる。 7. 処置の後片付けができる。 8. 実習記録を作成できる。	島田
28	7/15	スケーリング （上顎） 相互実習 10			島田
29	8/26	超音波スケーラー 相互実習 1	超音波スケーリング①	1. 超音波スケーラーの構成･特徴を説明できる。 2. 実習の手順を理解できる。 3. 使用器材を準備できる。 4. 全顎の超音波スケーリングを実施できる。 5. 部位に適したバキューム操作ができる。 6. 患者の安全への配慮ができる。 7. 処置の後片付けができる。 8. 実習記録を作成できる。	島田
30	8/26	超音波スケーラー 相互実習 2	超音波スケーリング②		島田
31	9/2	超音波スケーラー 相互実習 5	超音波スケーリング⑤	1. 超音波スケーラーの構成･特徴を説明できる。 2. 実習の手順を理解できる。 3. 使用器材を準備できる。 4. 全顎の超音波スケーリングを実施する。 5. 部位に適したバキューム操作ができる。 6. 患者の安全への配慮ができる。 7. 処置の後片付けができる。 8. 実習記録を作成できる。	島田
32	9/2	超音波スケーラー 相互実習 6	超音波スケーリング⑥		島田
33	10/26	業務記録 1	歯科衛生士業務記録	1. 業務記録の目的と意義を述べることができる。 2. 業務記録の種類と形式を述べることができる。 3. 記入上の注意点を述べることができる。	島田
34	11/4	業務記録 2	1. POS 2. SOAP記録	1. 問題志向型システムを説明できる。 2. SOAP 形式、SOAPIE 形式を説明できる。 3. SOAP 形式、SOAPIE 形式で業務記録を作成できる。	島田

35	11/11	ライフステージに対応した歯科衛生介入	妊産婦期	1. 一般的特徴を述べることができる。 2. 口腔の特徴を説明できる。 3. 望ましい保健行動を説明できる。 4. プロフェッショナルケアの目標を説明できる。 5. セルフケアの目標を説明できる。 6. 食生活の特徴と栄養を述べることができる。 7. 食生活指導を概説できる。	島田
36	11/18		新生児期・乳児期		島田
37	12/2		幼児期		島田
38	12/7		学齢期		島田
39	12/9		青年期		島田
40	12/16		成人期		島田
41	12/21		老年期		島田
42	1/6	配慮を要する者への歯科衛生介入	要介護高齢者	1. 要介護高齢者の特徴を説明できる。 2. 要介護高齢者への歯科衛生介入を説明できる。	島田
43	1/13		障害者	1. 障害児者の特徴を説明できる。 2. 障害児者への歯科衛生介入を説明できる。	島田
44	2/17		災害時	1. 大規模災害被災者の特徴を説明できる。 2. 大規模災害時の歯科保健活動を説明できる。	島田
45	3/1	症例検討	口腔内写真を読みとるグループワーク	1. 口腔内写真から正常・異常を判断できる。 2. 口腔内写真から所見を具体的に述べることができる。 3. 所見から問題点を抽出できる。 4. 問題に対する解決法を検討できる。	島田

科 目 名			担当教員		
歯科診療補助論Ⅱ			**髙山きよ江** 横井由紀子、大澤由里子、諸原朋子（中西正人） 〔授業補助〕三村杏奈、島田陽子、竹岡亜紀		
学年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員による授業科目
2	前・後期	3	90	実習	○

授業の目的（GIO）	歯科診療に関心を持ち、各項目に対する知識・技術を習得する。また、チーム医療における共同動作の意義を理解し、知識・技術についても習得する。 全身的疾病を理解したうえで対象年齢に応じた患者への接し方を学ぶ。
教科書	最新歯科衛生士教本： 「歯科診療補助論 第２版」、「歯科材料」、「歯科機器」（医歯薬出版） チェアサイドのアシスタントワーク （医歯薬出版） 臨床検査（医歯薬出版）［諸原］ 歯科衛生士のための看護学大意第３版（医歯薬出版）［大澤］
成績評価	定期試験、実技試験、授業態度、提出ノート、小テスト、出欠状況などから総合的に評価する。
実務経験のある教員及び実務経験職種	歯科衛生士：髙山きよ江、歯科医師：横井由紀子、看護師：大澤由里子、 臨床検査技師：諸原朋子（中西正人）
実務経験を踏まえた授業の内容	歯科衛生士として病院勤務経験のある教員が、チーム医療における共同動作の意義を理解させ、知識・技術を習得させる。また、全身的疾病の理解と対象年齢に応じた患者への接し方についても習得させる。 歯科医師として病院勤務経験のある教員が、臨床経験をもとに、日常で使われている材料の話題も交えながら、歯科衛生士に必要な歯科材料の基礎知識を理解させ、関心を持って主体的に学ぶ姿勢を身につけさせる。 看護師として病院勤務経験のある教員が、歯科衛生士に必要な看護学の基礎を講義し、臨床実習に応用できる知識を習得させる。 臨床検査技師として病院勤務経験のある教員が、歯科衛生士として習得すべき臨床検査について講義し、全身的疾病の理解を向上させる。

回数	日付	項 目	講 義 内 容	学 習 到 達 目 標	担当
1	4/11	合着材・接着材	1. 合着材 2. 接着材	1. 合着材の硬化反応と特性について理解する。 2. 接着材の特性と歯面処理について理解する。	横井
2	4/14	ワックス	1. 基礎知識 2. ワックスの種類、用途 3. グループ毎の確認テスト	1. 特徴、利点、欠点を説明できる。 2. ワックスの種類、用途を説明できる。 3. グループで協力し、ワックスの種類、用途を説明できる。	髙山
3	4/18	合着材１	1. 基礎知識 2. 種類と用途 3. 所要性質 4. 余剰セメントの除去	1. 合着材・接着材の意義を理解できる。 2. 種類、用途を説明できる。 3. 所要性質を説明できる。 4. 余剰セメントの除去の方法、注意事項を説明できる。	髙山
4	4/21	合着材２	リン酸亜鉛セメント 1）成分 2）特徴 3）取り扱い 4）実習	1. 成分、特徴、用途、稠度、硬化時間を説明できる。 2. ガラス練板の使用目的を説明できる。 3. 粉末の分割方法を説明できる。 4. 練和に必要な器材を列挙できる。 5. 取り扱い方法を説明できる。 6. ガラス練板の取り扱いができる。 7. 金属スパチュラの取り扱いができる。 8. 練和操作ができる。	髙山
5	4/25	合着材３	1. ポリカルボキシレートセメント 2. 従来型 グラスアイオノマーセメント 3. レジン添加型 グラスアイオノマーセメント 1）成分 2）特徴 3）取り扱い 4. 実習 レジン添加型 グラスアイオノマーセメント	1. 成分を説明できる。 2. 特徴を説明できる。 3. 用途を説明できる。 4. 稠度を説明できる。 5. 硬化時間を説明できる。 6. 練和に必要な器材を列挙できる。 7. 取り扱い方法を説明できる。 8. 適切な粉液比で練和できる。 9. 従来型グラスアイオノマーセメントとレジン添加型グラスアイオノマーセメントの違いを説明できる。 10. レジン添加型グラスアイオノマーセメントを練和できる。	髙山

6	4/28	合着材 4	実習 1)ポリカルボキシレートセメント 2)従来型 グラスアイオノマーセメント	1. 練和に必要な器材を列挙できる。 2. 紙練板の取り扱いができる。 3. プラスチックスパチュラの取り扱いができる。 4. 適切な粉液比で練和できる。	髙山
7	5/2	接着材	接着性レジンセメント 1)特徴 2)種類 (1)MMA 系 (2)コンポジット系 3)操作手順 4)応用例	1. 成分、特徴、用途、硬化時間、取り扱い方法を説明できる。 2. MMA 系レジンセメントとコンポジット系レジンセメントの違いを説明できる。	髙山
8	5/9	暫間修復材・ 仮着用セメント (仮着材)	1. 暫間修復材 1)用途、種類 2)暫間修復材の取り扱い 3)プロビジョナルレストレーション	1. 暫間修復について説明できる。 2. 暫間修復に使用される種類・材料を説明できる。 3. 暫間修復に必要な器材を列挙できる。 4. プロビジョナルレストレーションの目的を説明できる。	髙山
			2. 仮着用セメント 1)目的、種類 2)取り扱い方法 3)セメント泥の盛り付け方	1. 仮着用セメントの目的を説明できる。 2. 仮着用セメント種類を説明できる。 3. 練和に必要な器材を列挙できる。 4. 取り扱い方法を説明できる。 5. セメント泥の盛り付け方を説明できる。	
			3. 実習 既製冠へのセメント泥の盛り付け	1. 適切な量で練和できる。 2. 盛り付け操作ができる。	
9	5/12	仮封材・仮着材	仮封材・仮着材・暫間修復材	仮封材・仮着材および暫間修復材の種類について理解する。	横井
10	5/16	仮封材 1	1. 仮封と暫間修復の違い 2. 目的、所要性質 3. 仮封材の種類と仮封法 4. 各種材料の取り扱い方法	1. 仮封と暫間修復の違いを説明できる。 2. 目的、性質、種類、仮封法を説明できる。 3. 各種材料の取り扱い方法を説明できる。	髙山
11	5/19	仮封材 2	酸化亜鉛ユージノールセメント 1)成分、用途 2)特徴(利点・欠点) 3)取扱い方法 4)実習	1. 成分、特徴、用途、稠度、硬化時間を説明できる。 2. 練和に必要な器材を列挙できる。 3. 取り扱い方法を説明できる。 4. 練和操作ができる。	髙山
12	5/23	仮封材 3	実習 1)酸化亜鉛ユージノールセメント 2)リン酸亜鉛セメント 3)グラスアイオノマーセメント	1. 練和操作ができる。 2. 課題を挙げ改善できる。	髙山
13	5/26	仮封材 4	実習 1)テンポラリーストッピング 2)仮封用軟質レジン 3)水硬性仮封材	1. 顎模型上で各種仮封材を正しく取り扱うことができる。 2. フォーハンドでの仮封操作ができる。 3. フォーハンドでの仮封操作の介助ができる。	髙山
14	5/30	裏層材	1. ライニングとベースの違い 2. 種類、取り扱い方法 3. ライニング用、ベース用 4. 実習 グラスアイオノマーセメント	1. ライニングとベースの違いを説明できる。 2. 練和に必要な器材を列挙できる。 3. 取り扱い方法を説明できる。 4. 用途による稠度の違いを説明できる。 5. 適切な稠度で練和できる。	髙山
15	6/2	歯科補綴に関わる材料	人工歯・義歯床用レジン・ブリッジ・インプラントに使用する材料	人工歯、義歯床、ブリッジ、インプラントに使用される材料について理解する。	横井
16	6/6	義歯床用裏装材	1. リラインとリベース 2. 裏装材 3. 粘膜調整材 4. 適合試験材 5. 実習	1. リラインとリベースの違いを説明できる。 2. 裏装材の取り扱い方法を説明できる。 3. 粘膜調整の目的を説明できる。 4. 粘膜調整材の取り扱い方法を説明できる。 5. 適合試験の目的を説明できる。 6. 適合試験材の取り扱い方法を説明できる。 7. 練和に必要な器材を列挙できる。 8. 裏装材と粘膜調整材が練和できる。 9. 裏装材と粘膜調整材の性状の違いを観察できる。	髙山

17	6/9	根管充填用 セメント	1. 根管充填用セメントの目的、種類、取り扱い方法 2. 実習 酸化亜鉛ユージノールセメント	1. 根管充填用セメントの目的、用途、種類、取り扱い方法を説明できる。 2. 練和できる。	高山
18	6/13	歯周パック材	1. 目的、種類 2. 取り扱い方法 3. 貼付方法 4. 除去方法 5. 患者指導 6. 実習 1)非ユージノール系の練和 2)顎模型貼付(上顎前歯部) 3)患者指導	1. 歯周パックの目的、種類を説明できる。 2. 練和に必要な器材を列挙できる。 3. 取り扱い方法を説明できる。 4. 貼付方法を説明できる。 5. 除去方法を説明できる。 6. 非ユージノール系の歯周パック材の練和と貼付ができる。 7. 患者指導ができる。	高山
19	6/16	切削用機器 1	1. 切削・研削・研磨の定義 2. 電気エンジン、マイクロモーター、エアタービンの違い 3. マイクロモーター、エアタービンの用途 4. 切削器具 5. 研削器具 6. 研磨用器具	1. 切削・研削・研磨の定義を説明できる。 2. 電気エンジン、マイクロモーター、エアタービンの違いを説明できる。 3. マイクロモーター、エアタービンの用途を説明できる。 4. 切削器具の名称と用途を説明できる。 5. 研削器具の名称と用途を列挙できる 6. 研磨用器具の名称と用途を列挙できる。	高山
20	6/20	切削用機器 2	1. 復習 2. グループ毎の確認テスト	グループで協力し、名称と用途を説明できる。	高山
21	6/23	トレーセッティング 1 (保存修復)	直接修復 コンポジットレジン修復	1. 術式を説明できる。 2. 使用器材を列挙できる。 3. 器材の名称と用途を説明できる。	高山
22	6/27	トレーセッティング 2 (保存修復)	間接修復 1. インレー形成、印象採得 2. インレー合着	1. 術式を説明できる。 2. 使用器材を列挙できる。 3. 器材の名称と用途を説明できる。	高山
23	6/30	トレーセッティング 3 (歯内療法)	1. 歯髄処置(麻酔抜髄法) 2. 根管処置(根管充塡)	1. 術式を説明できる。 2. 使用器材を列挙できる。 3. 器材の名称と用途を説明できる。	高山
24	7/4	トレーセッティング 4 (歯周外科治療)	フラップ手術	1. 術式を説明できる。 2. 使用器材を列挙できる。 3. 器材の名称と用途を説明できる。	高山
25	7/7	トレーセッティング 5 (矯正治療)	1. セメンティング 2. ダイレクトボンディング法	1. 矯正装置装着の手順を説明できる。 2. 矯正歯科診療に使用される器材を列挙できる。 3. 器材の名称と用途を説明できる。	高山
26	7/11	トレーセッティング 6 (補綴治療)	咬合採得	1. 治療の流れを説明できる。 2. 使用器材を列挙できる。 3. 器材の名称と用途を説明できる。	高山
27	7/14	トレーセッティング 7 (口腔外科治療)	1. 普通抜歯手術 2. 埋伏抜歯手術	1. 術式を説明できる。 2. 使用器材を列挙できる。 3. 器材の名称と用途を説明できる。	高山
28	7/21		1. 歯槽骨整形手術 2. 歯根端(尖)切除術 3. 消炎手術	1. 術式を説明できる。 2. 使用器材を列挙できる。 3. 器材の名称と用途を説明できる。	高山
29	8/25		持針器・縫合針の取り扱い	1. 縫合に使用する器材を列挙できる。 2. 安全な持針器・縫合針の取り扱いができる。	高山
30	8/29	合着材・接着材 復習	合着材・接着材における知識、 練和技術の再確認	1. 各材料の知識を再確認し、それぞれの取り扱い方法を説明できる。 2. 練和技術の課題を改善し、適切な粉液比で練和できる。	高山
31	10/28	臨床検査①	1. 臨床検査の倫理、安全性、必要性 2. 検査の種類、検査値の読み方など	1. 臨床検査の倫理・安全性・必要性について理解する。 2. 臨床検査と歯科衛生士の役割を説明できる。 3. 検査の種類・成績の表し方・基準値とその変動要因を理解する。	諸原 (中西)
32	11/4	臨床検査②	1. 生体検査 (体温・脈拍・血圧) 2. 生理検査 (心電図・筋電図・血中酸素濃度)	1. 体温測定の意味を理解し、測定方法を説明できる。 2. 脈拍の意味を理解し、測定方法を説明できる。 3. 血圧測定の意味を理解し、測定方法を説明できる。 4. 心電図・筋電図・血中酸素飽和度を理解する。	諸原 (中西)

33	11/11	臨床検査③	1. 採血方法 2. 血液検査 3. 血液凝固・線溶系検査	1. 検体検査を説明できる。 2. 採血方法を説明できる。 3. 血液を使う検査の種類を列挙できる。 4. 貧血の検査を理解する。 5. 出血性素因の検査を理解する。	諸原 （中西）
34	11/18	臨床検査④	1. 生化学検査 2. 免疫・血清検査	1. 肝機能・腎機能・糖代謝の検査を理解する。 2. 炎症の検査を理解する。 3. HBV、HCV、HIVの検査を理解する。 4. アレルギーの検査を理解する。	諸原 （中西）
35	11/25	臨床検査⑤	1. 免疫・血清検査 2. 血液型検査 3. 感染症検査 4. 病理検査	1. 自己免疫疾患の検査を理解する。 2. 血液型検査を理解する。 3. 血液沈降速度を理解する。 4. 細菌感染症の検査を理解する。 5. 病理検査を理解する。	諸原 （中西）
36	12/2	看護学①	1. 看護の概念 2. 医療従事者としての知識	1. 健康・看護の定義が理解できる。 2. 基本的欲求、ADL・QOL が何か説明できる。 3. WHO、赤十字社とは何か理解できる。 4. 医院と診療所の違いが説明できる。	大澤
37	12/9	看護学②	1. 医療安全とは 2. 看護実務①	1. 医療事故、ヒヤリハットについて理解できる。 2. 臨床で起こりうる事故について理解できる。	大澤
38	12/16	看護学③	1. 看護実務②	1. 救急時の対処法について理解できる。 2. 当院で行っている滅菌について説明できる。	大澤
39	1/6	看護学④	1. 看護実務③ 2. 看護技術①	1. 基礎疾患のある患者についての注意点が理解できる。 2. 記録の種類が理解できる。 3. コミュニケーションとは何か理解できる。	大澤
40	1/13	看護学⑤	1. 看護技術②	1. バイタルサインとは何か、正常値及び実際の測定方法が説明できる。	大澤
41	1/20	看護学⑥	1. 看護技術③	1. 食事、与薬について理解できる。 2. 体位と褥瘡について理解できる。	大澤
42	1/27	高齢者介護実習 1	1. 高齢者 2. 車椅子 3. 衣服の着脱 4. 義歯の着脱と清掃 5. 吸い飲み 6. 実習内容説明	1. 高齢者の特徴を説明できる。 2. 車椅子の構造を説明できる。 3. 車椅子の操作方法および注意点を説明できる。 4. 着患脱健を説明できる。 5. 義歯の着脱法を説明できる。 6. 義歯の清掃法を説明できる。 7. 義歯の患者指導内容を列挙できる。 8. 吸い飲みの取り扱いを説明できる。	髙山
43	2/3	高齢者介護実習 2	1. 実習 1）車椅子の取り扱い 2）衣服着脱 3）義歯の清掃と取り扱い 4）吸い飲みの取り扱い 2. まとめ	1. 車椅子を安全に操作できる。 2. 車椅子の介助ができる。 3. 着患脱健を守り、衣服着脱の介助ができる。 4. 義歯清掃ができる。 5. 義歯の患者指導内容を説明できる。 6. 吸い飲みの取り扱い方法を説明できる。	髙山
44	2/10	高齢者介護実習 3			髙山
45	2/15	後期のまとめ	まとめ 後期の復習・確認	1. 後期を振り返り知識の整理ができる。 2. 各自の疑問点・不明点を解決できる。	髙山

科 目 名			担当教員		
保存修復・歯内療法学			**中村圭吾**、亀山敦史、 岩﨑拓也、森川雅己、増田宜子		
学年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員による授業科目
2	前期	1	30	講義	○

授業の目的(GIO)	歯の硬組織、歯髄および根尖歯周組織などの疾患に対する予防と治療について学ぶ。
教科書	片山　直，小松正志，松尾敬志　編集： 新・歯科衛生士教育マニュアル　保存修復（クインテッセンス出版） 全国歯科衛生士教育協議会監修： 最新歯科衛生士教本『歯の硬組織・歯髄疾患　保存修復・歯内療法』（医歯薬出版）
成績評価	出席、受講態度、試験
実務経験のある教員及び実務経験職種	歯科医師：中村圭吾、亀山敦史、岩﨑拓也、森川雅己、増田宜子
実務経験を踏まえた授業の内容	歯科医師として病院での勤務経験のある教員が、保存修復学・歯内療法学の意義、手技等を理解させ、歯科医師と協力して適切でより良い医療を患者に提供できるように講義する。

回数	日付	項　目	講 義 内 容	学 習 到 達 目 標	担当
1	4/11	保存修復学総論①	保存修復学の概要，歯の硬組織疾患	1. 保存修復の目的を説明できる。（想起） 2. 歯の硬組織疾患を分類し、それぞれを説明できる。（想起） 3. う蝕の病因と病態を説明できる。（想起） 4. う蝕のリスクファクターを列挙できる。（想起）	中村(圭) 亀山
2	4/18	保存修復学総論②	非う蝕性硬組織疾患，口腔検査法，検査用器具と手技	1. 非う蝕性の硬組織疾患を分類し、それぞれを説明できる。（想起） 2. 非う蝕性硬組織疾患の病因と病態を説明できる。（想起） 3. 診察、検査、診断および治療に必要な器材を説明できる。（想起） 4. 各種検査法の特徴と適応を説明できる。（想起） 5. 歯式の表現法を列挙し説明できる。（想起）	中村(圭) 亀山
3	4/25	保存修復学総論③	歯の切削，修復の前準備，象牙質・歯髄の保護，窩洞	1. 歯の切削とう蝕除去に必要な器材を列挙し、用途と使用方法を説明できる。（想起） 2. レーザーの用途と使用方法を説明できる。（想起） 3. 象牙質・歯髄複合体の保護法を列挙し、説明できる。（想起） 4. 窩洞を分類し、説明できる。（想起） 5. 窩洞の各部位の名称を説明できる。（想起） 6. 窩洞形態に関する一般原則を列挙できる。（想起）	中村(圭) 亀山
4	5/2	保存修復学各論①	ミニマル・インターベンション，コンポジットレジン修復①	1. ミニマル・インターベンションを説明できる。（想起） 2. コンポジットレジン修復の特徴を列挙し、説明できる。（想起） 3. コンポジットレジン修復の適応症と禁忌症を列挙できる。（想起） 4. コンポジットレジン修復の手順と器材材料の使用方法を説明できる。（想起）	中村(圭) 亀山
5	5/9	保存修復学各論②	コンポジットレジン修復②， グラスアイオノマーセメント修復	1. レジン接着システムについて説明できる。（想起） 2. 歯質との接着機構を説明できる。（想起） 3. グラスアイオノマー修復の特徴を列挙し、説明できる。（想起） 4. グラスアイオノマー修復の適応症と禁忌症を列挙できる。（想起） 5. グラスアイオノマー修復の手順と器材材料の使用方法を説明できる。（想起）	中村(圭) 亀山
6	5/16	保存修復学各論③	メタルインレー修復，合着と仕上げ・研磨	1. メタルインレー修復の特徴を列挙し、説明できる。（想起） 2. メタルインレー修復の適応症と禁忌症を列挙できる。（想起） 3. メタルインレー修復の手順と器材材料の使用方法を説明できる。（想起） 4. メタルインレーの製作法を説明できる。（想起） 5. 合着・接着材料の種類を列挙できる。（想起） 6. 合着・接着材料の組成と特徴を説明できる。（想起） 7. 間接修復物の合着・接着の手順と注意点を説明できる。（想起） 8. 仕上げと研磨の意義と目的を説明できる（想起） 9. 仕上げ・研磨それぞれに用いる器具を列挙できる。（想起）	中村(圭) 亀山

7	5/23	保存修復学各論④	セラミックインレー修復，コンポジットレジンインレー修復	1. セラミックインレー修復の特徴を列挙し、説明できる。（想起） 2. セラミックインレー修復の適応症と禁忌症を列挙できる。（想起） 3. セラミックインレー修復の手順と器材材料の使用方法を説明できる。（想起） 4. セラミックインレーの製作法とそれぞれの特徴を説明できる。（想起） 5. コンポジットレジンインレー修復の特徴を列挙し、説明できる。（想起） 6. コンポジットレジンインレー修復の適応症と禁忌症を列挙できる。（想起） 7. コンポジットレジンインレー修復の手順と器材材料の使用方法を説明できる。（想起） 8. コンポジットレジンインレーの製作法を説明できる。（想起）	中村(圭) 亀山
8	5/30	変色歯への対応	歯の漂白（ホワイトニング）とポリッシング，ラミネートベニア修復	1. 変色の原因を説明できる。（想起） 2. 変色歯への処置法を列挙し、それぞれ説明できる。（想起） 3. 歯の漂白の特徴を列挙し、説明できる。（想起） 4. 歯の漂白の種類を列挙し説明できる。（想起） 5. 歯の漂白の適応症と禁忌症を列挙できる。（想起） 6. 歯の漂白の手順と器材材料の使用方法を説明できる。（想起） 7. 歯の漂白による知覚過敏症について説明できる。（想起） 8. 歯の漂白後のメインテナンスについて説明できる。（想起） 9. ラミネートベニア修復の特徴を列挙し、説明できる。（想起） 10.ラミネートベニア修復の種類を列挙し説明できる。（想起） 11.ラミネートベニア修復の適応症と禁忌症を列挙できる。（想起） 12. ラミネートベニア修復の手順と器材材料の使用方法を説明できる。（想起）	中村(圭) 亀山
9	6/6	歯内療法学総論	歯内療法の概要	1. 歯髄疾患の種類、特徴、診査法、治療法、病理、臨床症状について説明できる。 2. 根尖性歯周炎の種類、特徴、診査法、治療法、病理、臨床症状ついて説明できる。	岩﨑 増田
10	6/13	歯内治療における検査、歯髄保存療法	歯内治療における検査 歯髄保存療法の種類と特徴	1. 歯内治療における検査の種類、特徴について説明できる。 2. 歯髄保存療法の種類、特徴について説明できる。	岩﨑 増田
11	6/20	歯髄除去療法	歯髄除去療法の種類と特徴	1. 歯髄除去療法の種類、特徴について説明できる。	岩﨑 増田
12	6/27	根管治療、 根管充填1	根管治療と根管充填の時期の判定	1. 根管治療の術式、根管充填の時期の判定について説明できる。	岩﨑 増田
13	7/4	外科的歯内療法	外科的歯内療法の分類と術式 歯科用実体顕微鏡の特徴	1. 外科的歯内療法の目的、適応症と術式を説明できる。 2. 歯科用実体顕微鏡の特徴について説明できる	森川 増田
14	7/11	根管充填2 歯の外傷、 根未完成歯の処置	根管充填の術式と種類 歯の外傷の処置 根未完成歯の処置	1. 根管充填の術式、種類、処置について説明できる。 2. 歯の外傷の処置について説明できる。 3. 根未完成歯の処置について説明できる。	岩﨑 増田
15	7/29	歯内療法における安全対策	偶発事故の種類と事故	1. 偶発事故の種類と処置について説明できる。	岩﨑 増田

科 目 名			担当教員名		
歯周療法学			中村 卓		
学年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員による授業科目
2	前期	1	30	講義	○

授業の目的(GIO)	近年、国民の口腔衛生に対する意識の向上が認められるが、現在も日本人における歯の喪失の 1 番の原因は歯周病である。また、歯周病は生活習慣病にも認定され、超高齢社会を迎えた現在、全身疾患との関連性とも相まって、その治療の重要性はどんどん高まっている。「歯周療法学」では歯周病の原因や進行のメカニズムをよく理解し、その予防法と治療法について理解する。注意すべきは、テクニックを学ぶのではなく、疾患進行機序や予防、治療の目的や理論をよく理解することが大切である。
教科書	全国歯科衛生士教育協議会監修: 最新歯科衛生士教本『歯周病学』第 2 版(医歯薬出版)
成績評価	授業出席回数、聴講態度、理解度、記述試験を総合評価する。
実務経験のある教員及び実務経験職種	歯科医師:中村卓
実務経験を踏まえた授業の内容	歯科医師として病院での勤務経験のある教員が、歯周病の原因や進行のメカニズムを講義し、その予防法と治療法について理解させる。

回数	日付	項 目	講 義 内 容	学 習 到 達 目 標	担当
1	4/13	歯周組織の構造 (歯肉、歯根膜、セメント質、歯槽骨)	歯周療法学概説 歯肉、歯根膜、セメント質、歯槽骨の構造・機能	1. 歯周療法学の意義や目的を理解する。 2. 正常歯周組織の構造、機能を理解する。	中村(卓)
2	4/20	歯周病の分類	歯肉炎と歯周炎、日本歯周病学会の分類(2006)、歯周疾患およびインプラント周囲疾患の新分類(2017)、特殊な歯周病	歯周病を分類することは鑑別、診断、予防、治療に対して重要である。歯周病の分類と病態について理解する。	中村(卓)
3	4/27	歯周病の病因 1 (細菌因子)	細菌因子 (プラーク、歯石等)	歯周病を多因子疾患として捉え、そのひとつである細菌因子について理解する。	中村(卓)
4	5/11	歯周病の病因 2 (宿主、環境因子)	宿主、環境因子 (歯周病の進行過程)	細菌と宿主組織の応答、その応答を修飾する環境因子について理解する。	中村(卓)
5	5/18	歯周病と全身との関連 高齢者の歯周治療	歯周病と全身との関連、高齢者の歯周治療	歯周病と全身(生活習慣、全身疾患)との関連、高齢者の歯周治療について理解する。	中村(卓)
6	5/25	歯周治療の流れ治療計画	歯周治療の流れ、治療計画	歯周治療の流れを説明でき、検査、診断、予後から治療計画を立案する過程を理解する。	中村(卓)
7	6/1	歯周組織検査	歯周組織検査の目的と意義	歯周プローブでの歯周組織検査の内容、目的、意義、プロトコールへの記録の重要性を理解する。	中村(卓)
8	6/8	歯周基本治療 1	歯周基本治療の内容、目的、意義	歯周基本治療の目的や意義について理解し、原因除去療法で、治療の成否を決める重要なステージであることを知る。	中村(卓)
9	6/15	歯周基本治療 2	プラークコントロール、スケーリング・ルートプレーニングの目的と意義	プラークコントロール、スケーリング・ルートプレーニングの目的と意義について理解する。	中村(卓)
10	6/22	歯周基本治療 3 再評価	暫間固定、咬合調整、習癖の修正の目的と意義、歯周治療後の再評価	1. 暫間固定、咬合調整、習癖の修正の目的と意義について理解する。 2. 歯周治療後の再評価について理解する。	中村(卓)
11	6/29	歯周外科治療 1 (切除療法、組織付着療法)	各種切除、組織付着療法の術式、適応、創傷治癒について	各種切除、組織付着療法の名称、目的、術式、適応、創傷治癒について理解する。	中村(卓)
12	7/6	歯周外科治療 2 (歯周組織再生療法、歯周形成手術) 口腔機能回復治療	各種歯周組織再生療法、歯周形成手術の術式、適応、創傷治癒、口腔機能回復治療について	各種歯周組織再生療法、歯周形成手術の名称、目的、術式、適応、創傷治癒、口腔機能回復治療について理解する。	中村(卓)
13	7/13	歯周病の疫学と予防 口臭	歯周病の疫学に用いる指数、 第 1、2、3 次予防、 口臭	1. 疫学の方法論、第1、2、3次予防を理解し、歯周病の疫学に用いる指数を説明できる。 2. 口臭の原因と治療法について理解する。	中村(卓)
14	7/20	歯周病の抗菌療法 レーザー治療 根分岐部病変	歯周病の抗菌療法 レーザー治療 根分岐部病変	歯周病の抗菌療法、レーザー治療、根分岐部病変について理解する。	中村(卓)
15	8/31	メインテナンス サポーティブペリオドンタルセラピー(SPT)	歯周治療後の再評価、メインテナンス、SPT の目的、意義、方法	歯周治療後の再評価、歯周治療により改善された歯周組織、咬合を維持するためのメインテナンス、SPT について理解する。	中村(卓)

科 目 名			担当教員		
歯科補綴学			**霜野良介**、吉野旭宏		
学年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員による授業科目
2	前期	1	30	講義	○

授業の目的(GIO)	歯科衛生士の資質向上をはかることを目的にし、咀嚼障害・咬合異常に対する歯科補綴治療の基礎知識を習得する。
教科書	全国歯科衛生士教育協議会監修: 最新歯科衛生士教本『咀嚼障害・咬合異常 1　歯科補綴 第 2 版』(医歯薬出版)
成績評価	定期試験、口頭試問、レポート、出席状況、授業態度を総合的に評価する。
実務経験のある教員及び実務経験職種	歯科医師:霜野良介、吉野旭宏
実務経験を踏まえた授業の内容	歯科医師として病院での勤務経験のある教員が、歯科衛生士の資質向上をはかることを目的にし、咀嚼障害・咬合異常に対する歯科補綴治療の基礎知識を習得させる。

回数	日付	項　目	講 義 内 容	学 習 到 達 目 標	担当
1	4/12	歯科補綴治療とは	歯の欠損による顎口腔系の変化 補綴治療の目的と意義	歯の欠損に伴う顎口腔系の形態的、機能的変化を列挙し、補綴装置による形態と機能の回復を理解する。	吉野
2	4/19	歯冠補綴装置の種類	歯冠補綴装置の種類、特徴およびその適応	歯冠補綴物の種類、特徴およびその適応について理解する。	吉野
3	4/26	クラウンブリッジ治療	前処置、支台築造、支台歯形成について	クラウンブリッジの治療の流れについて理解する。	吉野
4	5/10	クラウンブリッジ治療	印象採得、咬合採得、テンポラリークラウンについて	クラウンブリッジの治療の流れについて理解する。	吉野
5	5/17	クラウンブリッジ治療	作業用模型製作、咬合器について	クラウンブリッジの治療の流れについて理解する。	吉野
6	5/24	クラウンブリッジ治療	補綴装置製作、装着、術後管理について	クラウンブリッジの治療の流れについて理解する。	吉野
7	5/31	インプラント治療	インプラントの治療の流れ	インプラント治療について理解する。	吉野
8	6/7	歯科補綴治療とは	目的と意義、歯科衛生士の役割	QOL と補綴治療の関連性と重要性について理解する。	霜野
9	6/14	有床義歯治療	全部床義歯の製作の流れ	全部床義歯の治療の流れについて理解する。	霜野
10	6/21	有床義歯治療	全部床義歯の製作の流れ	全部床義歯の治療の流れについて理解する。	霜野
11	6/28	有床義歯治療	部分床義歯の構成要素	部分床義歯の構成要素について理解する。	霜野
12	7/5	有床義歯治療	部分床義歯の製作の流れ	部分床義歯の治療の流れについて理解する。	霜野
13	7/12	有床義歯治療	部分床義歯の製作の流れ、粘膜疾患	部分床義歯の治療の流れ、および義歯による粘膜疾患について理解する。	霜野
14	7/19	有床義歯治療	粘膜調整、リライン、義歯の補修、材料・器具	粘膜調整、リライン、義歯の補修および補綴治療で用いる材料・器具について理解する。	霜野
15	8/30	有床義歯治療	材料・器具	補綴治療で用いる材料・器具について理解する。	霜野

科 目 名			担当教員		
口腔外科学			**栗原祐史**、植田章夫、李 憲起		
学年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員による授業科目
2	前期	1	30	講義	○

授業の目的(GIO)	歯科衛生士として必要な口腔外科疾患の診査、診断、治療法、予後について理解する。
教科書	全国歯科衛生士教育協議会監修: 最新歯科衛生士教本『顎・口腔粘膜疾患　口腔外科・歯科麻酔』(医歯薬出版)
成績評価	出席状況、受講態度、定期試験の結果を総合的に評価する。
実務経験のある教員及び実務経験職種	歯科医師:栗原祐史、植田章夫、李憲起
実務経験を踏まえた授業の内容	歯科医師として病院での勤務経験のある教員が、歯科衛生士として必要な口腔外科疾患の診査、診断、治療法、予後について理解させる。

回数	日付	項　目	講 義 内 容	学 習 到 達 目 標	担当
1	4/13	口腔外科学概論	口腔の形態と機能、口腔疾患の特徴	顎口腔の形態と機能の特有性を学び口腔疾患の特徴を理解する。	栗原
2	4/20	診察法	視診、問診、バイタルサイン、頭頸部の診察	全身状態の評価法、医療記録の意義を理解する。	栗原
3	4/27	口腔領域の先天異常と発育異常	歯の異常、口唇口蓋裂、顎変形症	顎口腔領域に発現する先天異常、発育異常の病態と治療法を理解する。	栗原
4	5/11	顎・顔面の損傷	軟組織の損傷、歯の外傷、歯槽骨骨折、顎骨骨折	顎口腔領域の外傷性疾患についてその種類、病態、治療法を理解する。	栗原
5	5/18	顎関節疾患	顎関節の形態と機能、顎関節症、顎関節脱臼	顎関節部に発現する疾患の病態と治療法を理解する。	栗原
6	5/25	口腔粘膜疾患	口内炎、扁平苔癬、カンジダ症、褥創性潰瘍	口腔粘膜疾患の病態と治療法を理解する。	栗原
7	6/1	炎症性疾患	歯性感染症、特異性炎、非特異性炎、抗菌薬	顎口腔領域に発現する炎症の病態と治療法を理解する。	栗原
8	6/8	唾液腺疾患	唾液腺の形態と機能、唾石、唾液腺腫瘍	顎口腔領域に発現する唾液腺疾患の病態と治療法を理解する。	栗原
9	6/15	血液疾患	白血病、血友病、紫斑病	血液の組成と機能を理解する。血液疾患の病態を理解する。	李
10	6/22	神経疾患	三叉神経痛、舌咽神経痛、顔面神経麻痺	顎口腔領域に発現する神経疾患の病態と治療法を理解する。	李
11	6/29	嚢胞性疾患	顎骨内に発生する嚢胞、軟組織に発生する嚢胞	顎口腔領域に発現する嚢胞性疾患の病態と治療法を理解する。	植田
12	7/6	腫瘍(1)	良性上皮性腫瘍、良性非上皮性腫瘍	顎口腔領域に発現する良性腫瘍の病態と治療法を理解する。	植田
13	7/13	腫瘍(2)	悪性上皮性腫瘍、悪性非上皮性腫瘍	顎口腔領域に発現する悪性腫瘍の病態と治療法を理解する。	植田
14	7/20	デンタルインプラント	インプラントの歴史、生体材料、osseointegration	デンタルインプラントの特徴・術式を理解する。	植田
15	8/31	小手術(抜歯術など)	抜歯術・歯根端切除術・膿瘍切開術・歯槽骨整形術	外来における小手術の術式を理解する。	植田

科　目　名			担当教員		
小児歯科学			**森山敬太**、谷田幸代		
学年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員による授業科目
2	前期	1	30	講義	○

授業の目的(GIO)	小児期から成人に至るまでの全身と口腔領域の正常な成長発育を理解するとともに、口腔領域に発生する疾患や異常に対して小児の成長発育を考慮した予防、治療ならびに口腔健康管理について診療補助として必要な事項を理解する。
教科書	最新歯科衛生士教本「小児歯科 第 2 版」(医歯薬出版)
成績評価	定期試験
実務経験のある教員及び実務経験職種	歯科医師:森山敬太、谷田幸代
実務経験を踏まえた授業の内容	歯科医師として病院での勤務経験のある教員が、 小児期から成人に至るまでの全身と口腔領域の正常な成長発育を理解させる。

回数	日付	項　目	講 義 内 容	学 習 到 達 目 標	担当
1	4/12	小児歯科の臨床的意義	1. 意義と目的 2. 成人歯科との相違	1. 成長・発育・発達を考慮し、個々の口腔変化を予測する学問である事を理解する。 2. 小児の特異性を理解する。	森山
2	4/26	人体の成長、発達発育	1. 身体の発育 2. 精神の発達 3. 小児の生理的特徴	1. 身体の成長・発育・発達を理解する。 2. 発育期の分類について理解する。 3. 暦齢と生理的年齢について理解する。 4. 身体の発育評価法について理解する。 5. 成長発育に影響する因子について理解する。 6. 身体の発育について理解する。 7. 胎生期、出生時、出生後の成長発育および特徴について理解する。 8. 人体諸器官の成長、発育および加齢による変化を理解する。 9. 身体の運動機能の発達、情動の発達および言語の発達について理解する。 10. 原始反射について理解する。 11. 小児の生理的特徴について理解する。	森山
3	5/10	成長期の歯科診療	1. 小児期の特徴 2. 口腔、顎、顔面、頭蓋の発生と成長 3. 歯の発生、発育、形成障害	1. 小児期の特徴について理解する。 2. 顎、顔面、頭蓋の発育について理解する。 3. 顎、顔面の発育の評価について理解する。 4. 歯の発育段階、発育時期および形成障害について理解する。 5. 歯の形成障害の原因について理解する。 6. 歯の萌出機序について理解する。 7. 乳歯と永久歯の萌出時期と順序について理解する。 8. 歯の萌出異常について理解する。	森山
4	5/16	成長期の歯科診療	1. 乳歯と幼若永久歯の特徴 2. 歯列の成長発育	1. 乳歯の形態的、構造的、物理・化学的特徴について理解する。 2. 乳歯の歯髄の特徴について理解する。 3. 歯の咬耗について理解する。 4. 乳歯歯根吸収、脱落の機序について理解する。 5. 幼若永久歯の定義、形態および構造について理解する。 6. 咬合発育段階について理解する。 7. 無歯期、乳歯列期、第一大臼歯萌出期、永久切歯萌出期、側方歯群萌出期、第二大臼歯萌出期の特徴について理解する。 8. 歯列・咬合の異常の原因について理解する。 9. 乳歯と永久歯咬合に影響をおよぼす環境因子について理解する。 10. 歯の早期喪失が歯列におよぼす影響について理解する。	森山
5	5/17	小児患者の対応	1. 診療時に必要な小児の心理 2. 患児、保護者、術者との関係 3. 医療環境との関係 4. 歯科的対応法の実際 5. 年齢別にみた一般的対応法 6. 非協力児への対応法 7. 鎮静、減痛的処置 8. 全身麻酔下集中治療	1. 歯科診療時に必要な小児の心理について理解する。 2. 患児、保護者、術者との関係の重要性について理解する。 3. 小児歯科の医療事故防止対策や診療室内の環境について理解する。 4. 小児の歯科的対応法について理解する。 5. 年齢別の対応法について理解する。 6. 非協力児への対応法について理解する。 7. 小児の鎮静、減痛的処置について理解する。 8. 全身麻酔下集中歯科治療について理解する。	森山

6	5/23	小児歯科診療における補助 1	小児患児の診療方針 1. 診査と診断 2. 治療計画 3. 患者教育	1. 小児の口腔疾患に対する診査法、診断法および治療計画について理解する。 2. 口腔疾患の予防と対策法について理解する。	森山
7	5/30	小児歯科診療における補助 2	1. 補助者の役割 2. 小児の歯冠修復 3. 小児歯周疾患の予防と処置	1. 小児歯科診療における補助者の役割について理解する。 2. 診査時や麻酔時の補助について理解する。 3. ラバーダム防湿の目的について理解する。 4. 乳歯の歯冠修復について理解する。 5. コンポジットレジン修復法、インレー修復法、乳歯既製金属冠修復法、鋳造冠修復法、コンポジットレジン冠修復法について理解する。 6. 幼若永久歯の歯冠修復法について理解する。 7. 健全な歯周組織について理解する。 8. 小児歯周疾患の種類、罹患率、診査法、評価法について理解する。 9. 小児歯周疾患の予防と処置法について理解する。	森山
8	6/6	小児歯科診療における補助 3	小児の歯内療法	1. 乳歯歯内療法の診査、診断について理解する。 2. 乳歯歯髄炎の処置について理解する。 3. 暫間的間接覆髄法について理解する。 4. 乳歯の歯髄切断法について理解する。 5. 乳歯の抜髄法について理解する。 6. 乳歯の感染根管治療法について理解する。	森山
9	6/13	小児歯科診療における補助 4	1. 小児の外科処置 2. 小児の歯の外傷	1. 乳歯抜去の適応症、禁忌症について理解する。 2. 局所麻酔法について理解する。 3. 乳歯の抜歯の術式について理解する。 4. 抜歯の後処置と留意点ついて理解する。 5. 全身疾患と抜歯の問題点について理解する。 6. 過剰歯の抜歯について理解する。 7. 小帯異常の処置について理解する。 8. 小児の歯の外傷の疫学、分類および処置法について理解する。 9. 乳歯外傷が永久歯におよぼす影響について理解する。 10. 歯の外傷の予後について理解する。	森山
10	6/20	小児歯科診療における補助 5	1. 咬合誘導概論 2. 保隙と保隙装置 3. 咬合誘導法	1. 咬合誘導の意義と目的について理解する。 2. 咬合誘導上必要な診査、診断について理解する。 3. 保隙の目的、適応症および必要条件について理解する。 4. クラウンループ保隙装置について理解する。 5. ディスタルシュー保隙装置について理解する。 6. 舌側弧線保隙装置について理解する。 7. ナンスのホールディングアーチ保隙装置について理解する。 8. 可撤式床型保隙装置について理解する。 9. 積極的な咬合誘導法について理解する。 10. 口腔領域の悪習癖と対応について理解する。	森山
11	6/27	小児のう蝕予防 1	1. 小児のう蝕疫学 2. 乳歯う蝕 3. 幼若永久歯う蝕 4. 心身に及ぼすう蝕の影響	1. 疫学的観察法について理解する。 2. 乳歯う蝕の年次推移の特徴について理解する。 3. 幼若永久歯う蝕の年次推移の特徴について理解する。 4. 乳歯う蝕の特徴、好発部位および罹患型分類について理解する。 5. 特異的な乳歯う蝕について理解する。 6. 幼若永久歯う蝕の特徴と好発部位について理解する。 7. う蝕の局所的、全身的為害作用について理解する。 8. 歯性病巣感染について理解する。	谷田
12	7/4	小児のう蝕予防 2	う蝕予防と進行抑制	1. 小児の歯口清掃法について理解する。 2. う蝕予防、進行抑制法の分類について理解する。 3. う蝕予防のための食事、間食指導について理解する。 4. 予防填塞法について理解する。	谷田
13	7/22	小児のう蝕予防 3	う蝕予防と進行抑制	う蝕予防における薬物応用について理解する。	谷田
14	7/22	リコールならびに患者管理	定期健診	歯科定期健診の重要性について理解する。	森山
15	9/1	心身障害児の歯科診療補助	小児疾患と歯科診療	歯科治療上問題となる遺伝性疾患、染色体異常、感染症、ビタミン欠乏症、内分泌異常、血液・造血器疾患、代謝異常、腎疾患、循環器疾患、呼吸器疾患、免疫性疾患について理解する。	森山

科 目 名			担当教員		
歯科矯正学			川原良美		
学　年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員による授業科目
2	前期	1	30	講義	○

授業の目的(GIO)	矯正治療の目的と意義を説明できる。 正常咬合の概念と成立・保持条件を説明できる。 不正咬合の原因、種類、診察、検査、診断、治療および予防法を説明できる。 矯正装置の種類と使途を説明できる。 矯正治療に用いる器材の名称と使い方を説明できる。 矯正治療に必要な力学を説明でき、矯正治療によって起こる生体の反応を説明できる。
教科書	全国歯科衛生士教育協議会監修: 最新歯科衛生士教本『咀嚼障害・咬合異常 2　歯科矯正』(医歯薬出版)
成績評価	定期試験による成績評価、出席状況などから総合的に評価する。
実務経験のある教員及び実務経験職種	歯科医師:川原良美
実務経験を踏まえた授業の内容	歯科医師として病院での勤務経験のある教員が、矯正治療の目的･意義を理解するために、不正咬合の原因、種類、診察、検査、診断、治療および予防法等について講義する。

回数	日付	項　目	講 義 内 容	学 習 到 達 目 標	担当
1	4/12	歯科矯正学概論	矯正治療の目標 矯正治療の概要	1. 矯正治療の目標を理解する。 2. 矯正治療の概要を説明できる。	川原
2	4/19	成長・発育	頭蓋・顎顔面の成長発育 歯・歯列の成長発育	頭蓋・顎顔面の成長発育について理解する。	川原
3	4/26	正常咬合	正常咬合	1. 正常咬合を理解する。 2. 垂直被蓋、水平被蓋を理解する。	川原
4	5/10	不正咬合①	不正咬合の分類	1. 不正咬合の分類を説明できる。 2. 個々の歯の位置異常を説明できる。	川原
5	5/17	不正咬合②	不正咬合の原因 不正咬合の予防	1. 不正咬合の原因を説明できる。 2. 不正咬合の予防を説明できる。	川原
6	5/24	歯科矯正診断	診断に必要な資料 症例分析	1. 診断に必要な資料を理解する。 2. 症例分析を理解する。	川原
7	5/31	歯の移動	歯の移動と固定 歯の移動と組織反応	1. 歯の移動と固定を理解する。 2. 歯の移動に伴う組織反応を説明できる。	川原
8	6/7	矯正力	矯正力と顎整形力 保定	1. 矯正力と顎整形力について説明できる。 2. 保定について学ぶ。	川原
9	6/14	矯正装置①	可撤式矯正装置、固定式矯正装置、機能的矯正装置	可撤式矯正装置、固定式矯正装置、機能的矯正装置を説明できる。	川原
10	6/21	矯正装置②	顎外固定装置、顎内固定装置、保定装置、その他の装置	顎外固定装置、顎内固定装置、保定装置、その他の装置を説明できる。	川原
11	6/28	矯正器材	矯正に用いる器材 プライヤーの種類	矯正に用いる器材、プライヤーの種類を覚え、使い方を理解する。	川原
12	7/5	口腔保健管理	口腔保健管理 筋機能訓練法	1. 口腔保健管理を習得する。 2. 筋機能訓練法について説明できる。	川原
13	7/12	矯正治療①	子供の矯正治療 大人の矯正治療	治療の流れと症例に応じた装置を説明できる。	川原
14	7/19	矯正治療②	症例別治療の実際	治療の流れと症例に応じた装置を説明できる。	川原
15	8/30	総復習	演習問題による総復習	歯科矯正学を復習し、理解する。	川原

科　目　名			担当教員		
歯科放射線・歯科麻酔学			**森こず恵、谷山貴一**		
学年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員による授業科目
2	前期	1	30	講義	○

授業の目的(GIO)	1. 歯科医療における画像検査法の特徴と適応ならびに歯科診療補助としての十分な知識、技能を有するとともに、放射線の人体に対する影響、放射線防護の方法について理解する。 2. 歯科治療における局所麻酔、精神鎮静法および全身麻酔の基本を理解する。 3. 救急処置の基本を理解する。
教科書	歯科衛生士テキスト『わかりやすい歯科放射線学』第 3 版(学建書院) 全国歯科衛生士教育協議会監修: 最新歯科衛生士教本『顎・口腔粘膜疾患　口腔外科・歯科麻酔』(医歯薬出版)
成績評価	定期試験の成績、出席状況、受講態度で評価する。
実務経験のある教員及び実務経験職種	歯科医師:森こず恵、谷山貴一
実務経験を踏まえた授業の内容	歯科医師として病院での勤務経験のある教員が、歯科医療における画像検査法の特徴と適応ならびに歯科診療補助としての十分な知識、技能を講義し、放射線の人体に対する影響、放射線防護の方法等について理解させる。また、歯科治療における麻酔・精神鎮静法・救急処置の基本を理解させる。

回数	日付	項　目	講 義 内 容	学 習 到 達 目 標	担当
1	4/11	【歯科麻酔学】 全身状態評価	1. バイタルサイン 2. モニタリング	1. バイタルサインを把握できる。 2. 呼吸器系・循環器系のモニターについて説明できる。	谷山
2	4/18	【歯科麻酔学】 局所麻酔	1. 局所麻酔薬 2. 血管収縮薬 3. 局所麻酔法 1)表面麻酔 2)浸潤麻酔 3)伝達麻酔	1. 局所麻酔薬を分類できる。 2. 血管収縮薬の種類と特徴を説明できる。 3. 局所麻酔法の種類と特徴を説明できる。	谷山
3	4/25	【歯科麻酔学】 局所麻酔の合併症 歯科治療時の全身偶発症	1. 局所麻酔の局所的合併症 2. 局所麻酔の全身的合併症 3. 神経性ショック 4. 過換気症候群 5. アナフィラキシーショック	1. 局所麻酔の合併症を説明できる。 2. 歯科治療時の全身偶発症を説明できる。	谷山
4	5/2	【歯科麻酔学】 精神鎮静法 全身麻酔	1. 吸入鎮静法 2. 静脈内鎮静法 3. 吸入麻酔 4. 静脈内麻酔	1. 精神鎮静法の目的を説明できる。 2. 精神鎮静法の種類を説明できる。 3. 全身麻酔の目的を説明できる。 4. 全身麻酔の種類を説明できる。	谷山
5	5/9	【歯科麻酔学】 心肺蘇生法	1. 一次救命処置 2. 二次救命処置	1. 一次救命処置を説明できる。 2. 二次救命処置を説明できる。	谷山
6	5/26	【歯科放射線学】 1. 放射線とエックス線 2. 歯科衛生士の役割	1. 自然放射線と人工放射線 2. 放射線の種類 3. エックス線の性質 4. エックス線の単位 5. エックス線の発生 6. 歯科衛生士の役割	1. 身のまわりの放射線を説明できる。 2. 放射線の種類とエックス線の性質、単位、発生について説明できる。 3. 歯科衛生士の役割を理解する。	森(こ)
7	6/2	【歯科放射線学】 1. 放射線の影響 2. 歯科用エックス線撮影装置	1. 生体に対する影響 2. 放射線障害の分類 3. 歯科用エックス線撮影装置 4. 口内法エックス線撮影装置	1. 放射線の人体に対する影響について、身体的影響と遺伝的影響、確定的影響と確率的影響に関して説明できる。 2. 歯科用エックス線撮影装置の種類について説明できる。 3. 口内法撮影装置の構造について説明できる。	森(こ)
8	6/9	【歯科放射線学】 1. エックス線フィルム 2. エックス線画像の形成と幾何学的因子	1. エックス線フィルムの基本構造 2. 口内法、口外法撮影に使用するフィルムと器材 3. エックス線画像の形成 4. コントラスト 5. 画像に影響する因子	1. エックス線フィルムの基本構造について説明できる。 2. フィルムの種類とその器材の取り扱いについて説明できる。 3. 画像形成の原理と幾何学的因子について説明できる。 4. 被写体コントラストと写真コントラストについて説明できる。 5. 像の拡大、ひずみ、半影、鮮鋭度について説明できる。	森(こ)

9	6/16	【歯科放射線学】 口内法撮影法	1. 二等分法、平行法、咬翼法、咬合法 2. 正放線投影法と偏心投影法 3. 口内法撮影法の手順	1. 口内法エックス線撮影の種類と適応を説明できる。 2. 水平的垂直的投影法の種類と特徴を説明できる。 3. 口内法エックス線撮影法の手順について説明できる。	森(こ)
10	6/23	【歯科放射線学】 口外法撮影法	1. パノラマエックス線撮影 2. 頭部エックス線規格撮影 3. CT 4. 歯科用コーンビーム CT（CBCT） 5. MRI 6. 超音波診断装置（US） 7. シンチグラフィ 8. 造影検査法	1. パノラマエックス線撮影の特徴と適応を説明できる。 2. 頭部エックス線規格撮影の特徴と適応を説明できる。 3. 顎・顔面領域で利用する特殊画像検査法の種類、特徴、適応を説明できる。	森(こ)
11	6/30	【歯科放射線学】 フィルム処理	フィルム処理の流れと管理	フィルム処理の流れと方法、その写真処理について説明できる。	森(こ)
12	7/7	【歯科放射線学】 デジタルエックス線システム	デジタルエックス線撮影の特徴とシステムの種類	デジタルエックス線撮影の特徴とシステムの種類を説明できる。	森(こ)
13	7/14	【歯科放射線学】 1. 正常なエックス線画像 2. 病変の画像	1. 口内法エックス線撮影、パノラマエックス線撮影の正常像 2. 病変の画像例	1. 口腔領域で利用されるエックス線撮影で描出される正常像について説明できる。 2. 歯および歯周組織の疾患、顎・顔面領域の疾患の異常像について説明できる。	森(こ)
14	7/21	【歯科放射線学】 1. 放射線の防護と管理 2. 放射線治療	1. 放射線防護の目的 2. 被ばくの分類 3. 放射線防護体系 4. 放射線防護の実際 5. 被ばく線量測定 6. 放射線治療の方法 7. 放射線治療の副作用 8. 放射線治療患者の口腔管理	1. 歯科エックス線検査における患者と術者放射線医療従事者の放射線防護について説明できる。 2. 放射線治療の種類、方法、副作用を説明できる。 3. 放射線治療患者の口腔管理について説明できる。	森(こ)
15	8/25	【歯科放射線学】 歯科放射線学の総括	1. 総括 2. フィルムマウント実習	1. 歯科放射線学に必須とされる項目について再度確認し、理解することがでる。 2. 実習を通して、口内法エックス線撮影の正常解剖像について理解できる。	森(こ)

科　目　名			担当教員		
障害者歯科学			**朝比奈伯明**		
学年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員による授業科目
2	前期	1	30	講義	○

授業の目的(GIO)	スペシャルニーズのある人へ歯科保健と歯科医療を提供するための態度を習得する。
教科書	最新歯科衛生士教本　障害者歯科　第２版(医歯薬出版)
成績評価	定期試験による成績評価、出席状況などから総合的に評価する。
実務経験のある教員及び実務経験職種	歯科医師:朝比奈伯明
実務経験を踏まえた授業の内容	歯科医師として病院での勤務経験のある教員が、スペシャルニーズのある人に歯科保健と歯科医療を提供するための知識を習得させる。

回数	日付	項　目	講 義 内 容	学 習 到 達 目 標	担当
1	4/14	障害者歯科総論 1	障害の概念	1. スペシャルニーズおよび障害者の概念を理解する。 2. ICFについて理解する。 3. 障害の受容について理解する。 4. ノーマライゼーションとバリアフリーを理解する。 5. 障害者の社会福祉制度を理解する。	朝比奈
2	4/21	障害者歯科各論 1	知的能力障害者と歯科医療	1. 知的能力障害について理解する。 2. 知的能力障害者の口腔内の特徴を理解する。	朝比奈
3	4/28	障害者歯科各論 2	自閉スペクトラム症と歯科医療	1. 自閉スペクトラム症について理解する。 2. 自閉スペクトラム症の口腔内の特徴を理解する。	朝比奈
4	5/12	障害者歯科各論 3	発達障害と歯科医療	1. 発達障害について理解する。 2. 発達障害者の口腔内の特徴を理解する。	朝比奈
5	5/19	障害者歯科各論 4	身体障害と歯科医療 1	1. 身体障害について理解する。 2. 身体障害者の口腔内の特徴を理解する。	朝比奈
6	5/26	障害者歯科各論 5	身体障害と歯科医療 2	1. 身体障害について理解する。 2. 身体障害者の口腔内の特徴を理解する。	朝比奈
7	6/2	障害者歯科各論 6	精神障害と歯科医療	1. 精神障害について理解する。 2. 精神障害者の口腔内の特徴を理解する。	朝比奈
8	6/9	障害者歯科各論 7	障害者への行動調整 1	行動調整を理解する。	朝比奈
9	6/16	障害者歯科各論 8	障害者への行動調整 2	特殊な行動調整について理解する。	朝比奈
10	6/23	障害者歯科各論 9	障害者への口腔衛生管理	1. 障害者への口腔ケアを理解する。 2. 障害や疾患別の口腔衛生管理を説明できる。	朝比奈
11	6/30	障害者歯科各論 10	地域での障害者歯科 1	1. 地域医療連携を理解する。 2. 各医療機関での歯科衛生士の役割を理解する。 3. 地域でのかかりつけ歯科医の有利性を理解する。	朝比奈
12	7/7	障害者歯科各論 11	地域での障害者歯科 2	1. 地域医療連携を理解する。 2. 各医療機関での歯科衛生士の役割を理解する。 3. 地域でのかかりつけ歯科医の有利性を理解する。	朝比奈
13	7/14	障害者歯科各論 12	障害者への歯科保健指導 1	障害者への歯科保健指導について理解する。	朝比奈
14	7/21	障害者歯科各論 13	障害者への歯科保健指導 2	障害者への歯科保健指導について理解する。	朝比奈
15	8/25	まとめ	まとめ	今までの講義を復習する。	朝比奈

科　目　名			担当教員		
高齢者歯科学			**山上裕介**		
学年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員による授業科目
2	前期	1	30	講義	○

授業の目的(GIO)	スペシャルニーズのある人へ歯科保健と歯科医療を提供するための態度を習得する。
教科書	全国歯科衛生士教育協議会監修: 『高齢者歯科』第 2 版(医歯薬出版)
成績評価	定期試験による成績評価、出席状況などから総合的に評価する。
実務経験のある教員及び実務経験職種	歯科医師:山上裕介
実務経験を踏まえた授業の内容	歯科医師として病院での勤務経験のある教員が、高齢者に歯科保健と歯科医療を提供するために必要な知識を習得させる。

回数	日付	項　目	講 義 内 容	学 習 到 達 目 標	担当
1	4/12	スペシャルニーズと歯科	スペシャルニーズとは？	スペシャルニーズと歯科を説明する。	山上
2	4/19	高齢者歯科総論	老年医学総論、加齢	加齢現象を説明する。	山上
3	4/26	高齢者歯科各論 1	老化に伴う全身的な変化	全身的な加齢変化を説明する。	山上
4	5/10	高齢者歯科各論 2	老化に伴う口腔の変化	口腔の加齢変化を説明する。	山上
5	5/17	高齢者歯科各論 3	高齢者の症候と評価	高齢者の症候と評価を説明する。	山上
6	5/24	高齢者歯科各論 4	高齢者によく見られる疾患(1)	高齢者によくみられる疾患と対応、歯科保健について説明する。	山上
7	5/31	高齢者歯科各論 5	高齢者によく見られる疾患(2)	高齢者によくみられる疾患と対応、歯科保健について説明する。	山上
8	6/7	高齢者歯科各論 6	高齢者によく見られる疾患(3)	高齢者によくみられる疾患と対応、歯科保健について説明する。	山上
9	6/14	高齢者歯科各論 7	高齢者によく見られる疾患(4)	高齢者によくみられる疾患と対応、歯科保健について説明する。	山上
10	6/21	高齢者歯科各論 8	高齢者によく見られる疾患(5)	高齢者によくみられる疾患と対応、歯科保健について説明する。	山上
11	6/28	高齢者歯科各論 9	高齢者によく見られる疾患(6)	高齢者によくみられる疾患と対応、歯科保健について説明する。	山上
12	7/5	高齢者歯科各論 10	高齢者によく見られる疾患(7)	高齢者によくみられる疾患と対応、歯科保健について説明する。	山上
13	7/12	高齢者歯科各論 11	高齢者によく見られる疾患(8)	高齢者によくみられる疾患と対応、歯科保健について説明する。	山上
14	7/19	高齢者歯科各論 12	高齢者に対する口腔ケア	高齢者への口腔ケアについて説明する。	山上
15	8/30	高齢者歯科各論 13	要介護高齢者と歯科保健	要介護高齢者、ターミナルケアと歯科保健について説明する。	山上

科 目 名			担当教員		
摂食・嚥下学			田村瞬至		
学年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員による授業科目
2	前期	2	30	講義	○

授業の目的(GIO)	高齢者歯科医療、在宅訪問歯科医療における摂食・嚥下リハビリテーションの役割を理解し、歯科衛生士の役割について理解する。
教科書	歯科衛生士のための摂食・嚥下リハビリテーション第 2 版(医歯薬出版)
成績評価	定期試験による成績評価、出席状況などから総合的に評価する。
実務経験のある教員及び実務経験職種	歯科医師:田村瞬至
実務経験を踏まえた授業の内容	歯科医師として病院での勤務経験のある教員が、高齢者歯科医療、在宅訪問歯科医療における摂食・嚥下リハビリテーションの役割を講義し、歯科衛生士に必要な知識を習得させる。

回数	日付	項 目	講 義 内 容	学 習 到 達 目 標	担当
1	4/13	摂食・嚥下リハビリテーション概論	摂食・嚥下リハビリテーションとは何かについて説明する。	摂食・嚥下リハビリテーションとは何かを理解し、診療の流れについて説明する。	田村
2	4/14	摂食・嚥下リハビリテーション概論	摂食・嚥下リハの一連の流れについて説明する。	摂食・嚥下リハビリテーションとは何かを理解し、診療の流れについて説明する。	田村
3	4/21	摂食・嚥下に関わる解剖	摂食・嚥下機能に関連する解剖ついて説明する。	摂食・嚥下機能に関わる各部位の名称を覚え、正常のメカニズムについて理解する。	田村
4	4/27	医療面接とスクリーニング	口腔・咽頭機能の神経学的障害とその診査の仕方、スクリーニング検査について説明する。	1. 神経学的疾患による口腔、咽頭機能の障害の現れ方を理解する。 2. 摂食・嚥下障害のスクリーニングテストのやり方を説明できる。	田村
5	5/11	摂職・嚥下に関わる生理	摂食・嚥下機能と正常メカニズムについて説明する。	摂食・嚥下機能のメカニズムについて説明する。	田村
6	5/19	危機管理と栄養	窒息時の対処法と栄養管理・低栄養とその影響、サルコペニア、見極め方を説明する。	1. 窒息時の対応を説明できる。 2. 栄養状態の判断ができる。	田村
7	5/25	摂食・嚥下障害の精密検査	ビデオ内視鏡検査(VE)とビデオ嚥下造影検査(VF)を用いた摂食・嚥下障害の診断方法を説明する。	VE、VF によって口腔、咽頭がどのように見ることができるか理解し、VE、VF の利点、欠点について説明できる。	田村
8	6/1	摂食・嚥下障害者への対応(間接訓練)	摂食・嚥下障害者への機能訓練の目的とやり方について学ぶ。	機能訓練の目的と実践方法について理解する。	田村
9	6/8	摂食・嚥下障害者への対応(直接訓練)	摂食・嚥下障害者への機能訓練の目的とやり方について学ぶ。	機能訓練の目的と実践方法について理解する。	田村
10	6/22	摂食・嚥下障害者への対応(食事姿勢と食形態)	摂食・嚥下障害者への食事姿勢と食形態について学ぶ。	食事姿勢と食形態について理解する。	田村
11	6/29	乳幼児の摂食発達	咀嚼機能が発達するまでの乳幼児に見られる特徴について学ぶ。	乳幼児の口腔の特徴・嚥下動作について理解する。	田村
12	7/6	摂食・嚥下障害になる疾患	摂食・嚥下機能の神経学的障害と器質的障害の原因疾患と病態について説明する。	脳血管疾患、アルツハイマー病の病態と嚥下障害について理解する。	田村
13	7/11	訪問診療・地域連携 他職種	歯科の訪問診療の目的と行い方、地域連携について説明する。訪問診療の中でできる摂食・嚥下機能療法について説明する。	訪問歯科診療の行われ方を理解し、その中での口腔ケアと摂食・嚥下機能療法の行い方、他職種との連携について理解する。	田村
14	7/13	摂食嚥下の評価から処置まで	今まで勉強した範囲で特に重要な点を問題を解きながら復習する。	摂食嚥下障害のある患者が受診してから治療をしていくまでの流れを説明できるようにする。	田村
15	8/31	演習	摂食嚥下障害のある患者に対して行う検査と対応について討論を行う。	摂食嚥下に携わる職種の一員として自分ならばどうするかを考える。	田村

科　目　名			担当教員		
歯科英語			郷 育子		
学年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員による授業科目
2	前期	2	30	講義	ー

授業の目的(GIO)	基本的な英語の発音を学びながら、歯科衛生士として、診療の際に必要な英語能力を養う。
教科書	プリント配布
成績評価	定期試験および、出席、授業への参加などから総合的に判断する。
実務経験のある教員及び実務経験職種	ー
実務経験を踏まえた授業の内容	ー

回数	日付	項　目	講 義 内 容	学 習 到 達 目 標	担当
1	4/13	Class 1	Using dental-related English	リーディング、ライティング、スピーキング、リスニング	郷
2	4/20	Class 2	Using dental-related English	リーディング、ライティング、スピーキング、リスニング	郷
3	4/27	Class 3	Using dental-related English	リーディング、ライティング、スピーキング、リスニング	郷
4	5/11	Class 4	Using dental-related English	リーディング、ライティング、スピーキング、リスニング	郷
5	5/18	Class 5	Using dental-related English	リーディング、ライティング、スピーキング、リスニング	郷
6	5/25	Class 6	Using dental-related English	リーディング、ライティング、スピーキング、リスニング	郷
7	6/1	Class 7	Using dental-related English	リーディング、ライティング、スピーキング、リスニング	郷
8	6/8	Class 8	Using dental-related English	リーディング、ライティング、スピーキング、リスニング	郷
9	6/15	Class 9	Using dental-related English	リーディング、ライティング、スピーキング、リスニング	郷
10	6/22	Class 10	Using dental-related English	リーディング、ライティング、スピーキング、リスニング	郷
11	6/29	Class 11	Using dental-related English	リーディング、ライティング、スピーキング、リスニング	郷
12	7/6	Class 12	Using dental-related English	リーディング、ライティング、スピーキング、リスニング	郷
13	7/13	Class 13	Using dental-related English	リーディング、ライティング、スピーキング、リスニング	郷
14	7/20	Class 14	Using dental-related English	リーディング、ライティング、スピーキング、リスニング	郷
15	8/31	Class 15	Using dental-related English	リーディング、ライティング、スピーキング、リスニング	郷

科 目 名			担当教員		
キャリアデザイン			**島田陽子**、竹岡亜紀、三村杏奈、髙山きよ江		
学年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員による授業科目
2	前期	2	30	演習	○

授業の目的(GIO)	「働くこと」を自分のこととして捉えると共に、自分らしい「キャリアの在り方」についての洞察を深め、将来社会に出て実践できるように、社会人として求められる姿勢や資質・能力を身につける。
教科書	アクティブラーニング型キャリア教育ワークブック　やる気の根っこ 「未来ノート」(職業教育・キャリア教育財団)
成績評価	①出席　30% ②個人学習（参画度、主体性、事前課題、ワークシートなど）　30% ③チーム学習（参画度、主体性、演習、ワークシート、発表など）30% ④その他（積極性、意欲、勤勉性など）　10%
実務経験のある教員及び実務経験職種	歯科衛生士:島田陽子、竹岡亜紀、三村杏奈、髙山きよ江
実務経験を踏まえた授業の内容	歯科衛生士として病院等の勤務経験のある教員が、社会人として求められる姿勢や資質・能力を身につけさせる。

回数	日付	項　目	講 義 内 容	学 習 到 達 目 標	担当
1	4/11	チーム学習を進めるために	話し合いの意義	1. 何かを一方的に教わるのではなく、メンバー一人ひとりが自分のキャリアの方向性を主体的に見つけていくことを理解できる。 2. 個人のワークとチームのワークを行っていくチーム学習の大切さとコツを知る。 3. チーム学習を円滑に行うために大切なファシリテーションについて学び、メンバー同士の関わり方を身につける。	島田
2	4/18	自己理解 1	私の大切なもの探し	1. 自分の価値観を形づくっている大切なものは、自分にとってどのような重みや位置づけにあるのか、その現状を再認識し、今後にそれをどう活かしていけばよいのかを考えることができる。 2. 自分の価値観について、自分なりの言葉・文章にすることができる。 3. 自分が気づいた価値観をチームで互いに共有し、人それぞれに大切な価値観があることに気づく。	島田
3	4/25	自己理解 2	私ってどんな人？	1. 自己理解を深めることによって、自分自身を「他者に伝える」ことを意識して、「自己イメージ」を言語化・明確化できる。 2. 「自分らしさ」とはどういうものかを意識し、洞察を深めることができる。	竹岡
4	5/2	自己理解 3	自分を知る手がかり	1. 自分から見た自分と、他人から見た自分が一致、または一致しなかった結果を受け止め、自分についての気づきを得る。 2. 人は他者との関わりの中で生きており、他者は自分が成長するための大切な存在であることを再認識する。 3. 心の「開かれた窓」を大きくするために、他者の意見に耳を傾け、自分の意見も素直に伝えることができる。	三村
5	5/9	自己理解 4	過去を振り返ろう	1. 過去のライフ・イベント(人生上の出来事)を通して、自分の人生に対する態度(心がまえ)の根っこにあるものに気づき、自分らしさについて考えることができる。 2. 自分の態度(心がまえ)をどのように変えていけば、前向きに人生を歩めるかのポイントが理解できる。 3. 自分の「やる気の根っこ」を形づくっているものは何かについて洞察を深め、そのことが今後の進路選択における自己決定の要因になることを理解できる。	髙山
6	5/16	自己理解 5	なぜ働くの？	1. 自分にとっての「働く理由」や思いについての洞察を深めることができる。 2. メンバーの「働く理由」を聴き合い、他者と自分の「働く理由」「働く意味」の違いに気づき、多様な価値観があることを受け入れられるようになる。	髙山
7	5/23	仕事理解 1	地図を作ってみよう！	1. 仕事を行う上で必要な意識や態度について理解できる。 2. 自分のコミュニケーション特性を知り、仕事をする上で大切となる円滑なコミュニケーションの取り方を体得する。	島田

8	5/30	仕事理解 2	ケーススタディで学ぶ実際の仕事	1. 社会・組織の一員として、どのように行動すれば良いのかや、組織の中での自分の役割について考えることができる。 2. 仕事を行う上で大切な仕事の進め方や、身につけておくべき基本的な意識と態度について理解できる。	竹岡
9	6/6	仕事理解 3	インタビューしてみよう	1. 働いている人は、どのようにしてその仕事に従事したのか、働くということはどのようなことかが実感できる。 2. 実際に身近に働いている人の話を聴いて、仕事をすることを自分に引き寄せて考えることができる。 3. 仕事をすることは、単に収入を得るだけでなく、生き甲斐や自己成長の役割があることを理解できる。	髙山
10	6/13	仕事選択−未来に向けて−1	模擬店を出そう①	1. 第 1 章〜第 3 章を振り返り、「自己理解」と「仕事理解」のマッチングができると、仕事選択がしやすくなり、キャリア・プランが立てやすくなることを理解できる。 2. 仕事の進め方を模擬体験することで、全体の目標を達成するための組織の一員としての役割や「協働」について考えることができる。	三村
11	6/20	仕事選択−未来に向けて−2	模擬店を出そう②		三村
12	6/27	仕事選択−未来に向けて−3	未来ページ	1.「10 年後の自分」：「自己理解」と「仕事理解」を心の中でマッチングさせ、自分のキャリアの目標が設定できる。 2. キャリアの目標を実現するために具体的なキャリア・プランニングを行い、「学習目標」を明確にできる。 3. 共に学んできた仲間に対して、感謝と励ましのメッセージを贈り、互いのキャリア目標達成のために実践を誓いあう。	竹岡
13	7/4	講話 1	先輩の話を聴こう① （とどろき歯科医院： 歯科衛生士 小林夏実）	1. 歯科衛生士として働く先輩の話を「聴く」ことができる。 2. 歯科衛生士として働く先輩が、どのようなやり甲斐を感じているか実感できる。	島田
14	7/11	講話 2	先輩の話を聴こう② （まるのうちラクシア： 歯科衛生士・介護支援専門員 金子美佳）		島田
15	8/29	プレゼンテーション	私の未来	1.「未来ページ」で設定した目標およびその実現に向け、自分自身の想いを発表できる。 2.「聴き手に届くプレゼンテーション」を工夫できる。	島田

科　目　名			担当教員		
衛生行政・社会福祉			定岡　直		
学年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員による授業科目
2	後期	2	30	講義	○

授業の目的(GIO)	歯科衛生士として、国民の健康増進と適切な歯科医療を提供するために必要な衛生行政、社会保障および社会福祉に関わる組織、法律について理解する。
教科書	全国歯科衛生士教育協議会監修:最新歯科衛生士教本 「歯科衛生士と法律・制度」第 3 版(医歯薬出版)
成績評価	筆記試験、授業態度等の評価点により総合的に判定する。
実務経験のある教員及び実務経験職種	歯科医師:定岡直
実務経験を踏まえた授業の内容	歯科医師として病院での勤務経験のある教員が、歯科衛生士として、国民の健康増進と適切な歯科医療を提供するために必要な衛生行政、社会保障および社会福祉に関わる組織、法律について理解させる。

回数	日付	項　目	講 義 内 容	学 習 到 達 目 標	担当
1	10/26	衛生分野の復習・衛生行政	衛生行政の目的、衛生行政の沿革、衛生行政の組織	一年次の衛生分野の復習。 衛生行政の歴史と目的について説明できる。	定岡
2	11/2	関連法規　1	法制概論、歯科衛生士法	法の種類と意義について説明できる。	定岡
3	11/9	関連法規　2	歯科医師法、歯科技工士法、	歯科医療従事者の役割について説明できる。	定岡
4	11/16	関連法規　3	医療法・PDCA・クリニカルパス	医療法・医療施設の定義について説明できる。医療の質と安全確保について説明できる。	定岡
5	11/30	関連法規　4	医療連携を行う他職種、医師法、保健師助産師看護師法、薬剤師法、	チーム医療、医師法・薬剤師法について説明できる	定岡
6	12/7	社会保障　1	社会保障制度の沿革、社会保障の目標と機能、ライフサイクルにおける社会保障制度、世界の社会保障制度	社会保障の目標・機能、諸外国における社会保障制度との比較について説明できる。	定岡
7	12/14	社会保障　2	社会保険行政の組織、医療保険制度、健康保険法	医療保険制度、審査支払機関について説明できる。	定岡
8	12/21	社会保障　3	介護保険	介護保険制度・地域包括支援センターについて説明できる、	定岡
9	1/11	社会保障　4	年金制度、雇用保険・労働者災害補償保険制度、	年金制度・雇用保険・労働災害補償保険について説明できる。	定岡
10	1/18	社会福祉　1	社会福祉、社会福祉行政、社会福祉の担い手、生活保護制度	福祉・介護サービス従事者・生活保護について説明できる。	定岡
11	1/25	社会福祉　2	児童と家庭の福祉制度、障害者の福祉制度、高齢者の福祉制度	児童福祉の概要、母子福祉、児童虐待、障害者基本法、高齢者の保健と福祉について説明できる。	定岡
12	2/1	保健医療の動向	受療状況と国民医療費の現況について	国民医療費の現況について説明できる。	定岡
13	2/8	検疫と検疫感染症	検疫法・検疫感染症・検疫所	国内に新興感染症が持ち込まれることを防ぐ検疫について説明できる。	定岡
14	2/15	診療情報と各種証明書	診療情報と診療記録、処方箋、POMR、SOAP、各種証明書	チーム医療の為の診療情報の共有を説明できる。	定岡
15	2/22	まとめ	授業のまとめ	まとめ	定岡

科 目 名			担当教員		
医療事務（歯科）			野澤百合子		
学年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員による授業科目
2	後期	4	70	講義	ー

授業の目的(GIO)	歯科医療事務職として必要な医療保険の仕組みを理解し、歯科治療における保険請求事務知識を習得することを目的とする。
教科書	医療事務講座歯科　テキスト 1～4、スタディブック、サブテキスト(株式会社ニチイ学館)
成績評価	確認テスト、レポート提出、修了試験、出席状況
実務経験のある教員及び実務経験職種	ー
実務経験を踏まえた授業の内容	ー

回数	日付	項　目	講 義 内 容	学 習 到 達 目 標	担当
1 2	10/28	医療保険制度 1	1. 医療保険制度の基礎知識 2. 保険診療のしくみ 3. 医療保険の種類 4. 被保険者証の見方	1. 医療事務の仕事について理解する。 2. 医療保険と保険診療のしくみについて理解する。 3. 医療保険の種類と特徴を理解する。 4. 被保険者証の見方を理解する。	野澤
3	11/4	医療保険制度 2	1. 受付事務の基礎知識 2. その他の保険制度	1. カルテの上書きと窓口徴収について理解する。 2. 後期高齢者・公費負担・介護保険制度について理解する。	野澤
4		患者接遇 1	1. 患者接遇の基本マナー	1. 医事担当者としての応対・言葉遣いの基本を身につける。 2. 好感をもたれる態度と電話応対の基本を身につける。	
5 6	11/11	患者接遇 2	1. 患者受付の実際 2. 医療人として守るべきこと 3. 職場のコミュニケーション	1. 窓口応対と受付事例のロールプレイングを行い実践的技能を身につける。 2. 守秘義務と個人情報保護法について理解する。 3. クレーム対応方法と職場のコミュニケーションについて理解する。	野澤
7	11/16	歯科の基礎知識	1. 歯科の基礎知識	1. 医療保険請求に関わる歯牙の解剖と歯牙の表示のしかたを理解する。	野澤
8	11/18	歯科点数表とその解釈 1（基本診療料）	1. 初診料・再診料	1. 初診料・再診料の点数及び算定条件と明細書の記載要領について理解する。	野澤
9		歯科点数表とその解釈 2（特掲診療料）	1. 医学管理等 2. 在宅医療	1. 医学管理等の点数及び算定条件と明細書の記載要領について理解する。 2. 在宅医療の点数及び算定条件と明細書の記載要領について理解する。	
10 11	11/25	歯科点数表とその解釈 3（特掲診療料）	1. 投薬料 2. 画像診断	1. 投薬料の点数及び算定条件と明細書の記載要領について理解する。 2. 画像診断料の点数及び算定条件と明細書の記載要領について理解する。	野澤
12	11/30	歯科点数表とその解釈 4（特掲診療料）	1. 麻酔料 2. 検査料	1. 麻酔料の点数及び算定条件と明細書の記載要領について理解する。 2. 検査料の点数及び算定条件と明細書の記載要領について理解する。	野澤
13 14	12/2	歯科点数表とその解釈 5（特掲診療料）	1. 歯冠修復･歯冠形成 1	1. 歯冠修復の算定方法と歯冠形成の種類を理解する。 2. 歯冠修復と歯冠形成の関連を修復物の種類ごとに理解する。	野澤
15	12/7	歯科点数表とその解釈 6(特掲診療料)	1. 歯冠修復･歯冠形成 2	1. 歯冠修復と歯冠形成の関連を修復物の種類ごとに理解する。	野澤
16	12/9	歯科点数表とその解釈 7(特掲診療料)	1. 歯冠修復･歯冠形成 3	1. 歯冠修復と歯冠形成の明細書の記載要領について理解する。	野澤
17		症例による点数算定と規則 1	1. 初期う蝕症 1	1. 初期う蝕症の治療の流れと点数算定を理解する。	
18	12/14	症例による点数算定と規則 2	1. 初期う蝕症 2	1. 初期う蝕症の点検のポイントを理解する。	野澤

19 20	12/16	症例による点数算定と規則 3	1. 歯髄炎	1. 歯髄炎の治療の流れと点数算定を理解する。 2. 歯髄炎の点検ポイントを理解する。	野澤
21	12/21	症例による点数算定と規則 4	1. 感染根管 1	1. 感染根管の治療の流れと点数算定を理解する。	野澤
22 23	1/6	症例による点数算定と規則 5	1. 感染根管 2 2. その他の疾患 3. 歯周疾患 1	1. 感染根管の点検ポイントを理解する。 2. その他の疾患の治療の流れと点数算定を理解する。 3. その他の疾患の点検ポイントを理解する。 4. 歯周疾患の治療の流れと点数算定を理解する。	野澤
24	1/11	症例による点数算定と規則 6	1. 歯周疾患 2 2. 口腔粘膜等の疾患	1. 歯周疾患の点検ポイントを理解する。 2. 口腔粘膜等の疾患の治療の流れと点数算定を理解する。 3. 口腔粘膜等の疾患の点検ポイントを理解する。	野澤
25 26	1/13	症例による点数算定と規則 7	1. 欠損補綴(ブリッジ)	1. ブリッジの作成手順と点数算定を理解する。 2. ブリッジの点検ポイントを理解する。	野澤
27	1/18	症例による点数算定と規則 8	1. 欠損補綴(有床義歯)1	1. 有床義歯の作成手順と点数算定を理解する。	野澤
28 29	1/20	症例による点数算定と規則 9	1. 欠損補綴(有床義歯)2 2. 欠損補綴(床適合と修理) 3. 再装着と修理 4. 未装着請求	1. 有床義歯の点検ポイントを理解する。 2. 有床義歯の床適合と修理の点数算定と点検ポイントを理解する。 3. 歯冠修復物・ブリッジの再装着・修理の点数算定と点検ポイントを理解する。 4. 未装着請求の点数算定と請求方法を理解する。	野澤
30	1/25	カルテ例による明細書点検 1	1. 医事システム 2. レセプト点検 1	1. 医事システムにおける保険請求について理解する。 2. カルテとの突き合わせ点検練習によりレセプト点検の技能を身につける。	野澤
31 32	1/27	カルテ例による明細書点検 2	1. レセプト点検 2	1. カルテとの突き合わせ点検練習によりレセプト点検の技能を身につける。	野澤
33	2/1	カルテ例による明細書点検 3	1. レセプト点検 3	1. カルテとの突き合わせ点検練習によりレセプト点検の技能を身につける。	野澤
34 35	2/3	カルテ例による明細書点検 4	1. レセプト点検 4	1. カルテとの突き合わせ点検練習によりレセプト点検の技能を身につける。	野澤
36	2/8	カルテ例による明細書点検 5	1. レセプト点検 5	1. カルテとの突き合わせ点検練習によりレセプト点検の技能を身につける。	野澤
37 38	2/10	カルテ例による明細書点検 6	1. レセプト点検 6	1. カルテとの突き合わせ点検練習によりレセプト点検の技能を身につける。 2. レセプトのみの点検練習により実務に即した技能を身に付ける。	野澤

※医療事務セミナー（技能審査試験対策）は次年度実施する。

科　目　名	担当教員
臨地実習Ⅰ	松本歯科大学病院 歯科医師 保存科/亀山敦史、**小松佐保**、増田宜子、**岩﨑拓也** 保存科(歯周病)/吉成伸夫、**尾﨑友輝** 補綴科(総合診断科)/**霜野良介**、吉野旭宏、森　啓、大木絵美、髙谷達夫、岩﨑由紀子、喜多村洋幸、伊能利之、堀内竜太郎、加藤華子 口腔外科/**佐藤　工**、植田章夫、**谷山貴一**、上田敬介、西田洋平、友松薫 矯正歯科/**川原良美**、深沢香菜子 歯科放射線科/黒岩博子、**森こず恵** 小児歯科/**森山敬太** 地域連携歯科/**山上裕介** 歯科衛生士 西窪結香、中島香奈子、長瀬昭子、藤原彩、矢島絵美、阪西あい、宮下こずえ、三井美幸、西澤恵美

学年	開講学期	単位	時間	授業方法	実務経験のある教員による授業科目
2	後期	10	450	実習	○

実務経験のある教員及び実務経験職種	歯科医師:亀山敦史、小松佐保、増田宜子、岩﨑拓也、吉成伸夫、尾﨑友輝、霜野良介、吉野旭宏、森啓、大木絵美、髙谷達夫、岩﨑由紀子、喜多村洋幸、伊能利之、堀内竜太郎、加藤華子、佐藤工、植田章夫、中山洋子、谷山貴一、上田敬介、西田洋平、友松薫、川原良美、深沢香菜子、黒岩博子、森こず恵、森山敬太、山上裕介 歯科衛生士:西窪結香、中島香奈子、長瀬昭子、藤原彩、矢島絵美、阪西あい、宮下こずえ、三井美幸、西澤恵美
実務経験を踏まえた授業の内容	歯科医師として病院での勤務経験のある教員が、卒業後、直ちに歯科臨床に携われるように、円滑な歯科診療を進めるための診療補助について習得させる。 歯科衛生士として病院での勤務経験のある教員が、卒業後、直ちに歯科臨床に携われるように、知識と手技の向上を図る指導を行い、患者とのコミュニケーション、対応法について習得させる。

臨地実習の内容	**保存科**
担当	歯科医師:亀山敦史、**小松佐保**、増田宜子、**岩﨑拓也** 歯科衛生士:中島香奈子
授業の目的(GIO)	保存修復学ならびに歯内療法学について、講義で学んだ理論と基礎実習で習得した手技を基にして、臨床実習においては卒業後直ちに一般歯科臨床に携われるまでに、知識と手技を向上する。
評価方法	1. 実習の進捗状況 2. 臨床ケースに対するレポート・口頭試問 3. 習得キーワードの習得 4. 実習に臨む態度、身だしなみ、出席状況

項　目	実　習　内　容	行　動　目　標
診療のシステム	指導者より説明を受け、検印を受ける。	診療室の設備・運用、機器の配置についての知識を習得する。
各種器械類の理解	各種器械類の用途について説明を受け、さらに超音波発生装置、パルプテスターについてはレポートを提出し検印を受ける。	超音波発生装置、根管長測定器、パルプテスターについての使用目的、使用方法についての知識を習得する。
診療見学・補助	診療見学、補助を行い、治療の術式および内容に関するレポートを作成、提出。習得キーワード項目に検印を受け、満了する。満了できない場合は口頭試問にて補う。	器材準備、術式、処置の流れ、フォーハンドテクニックについての知識と手技を習得する。
歯科材料の取り扱い	各種歯科材料の用途についてレポート提出と口頭試問を行い、さらにセメント、印象材については説明を受けた上で、各自練習を行い指導者より評価を受ける。	歯科材料の使用目的と使用方法についての知識を習得し、取り扱いについての手技を向上させる。
相互実習	相互実習を行い指導者より評価を受ける。	歯科材料の取り扱い、バキュームテクニック、患者への対応を理解したうえで、相互実習を行いより高い手技を習得する。

＜注意事項＞
1. 欠席せずに、自発的かつ積極的に実習に臨むこと。
2. 習得キーワードを積極的に習得すること。

臨地実習の内容	**保存科（歯周病）**
担当	歯科医師：吉成伸夫、**尾崎友輝** 歯科衛生士：長瀬昭子
授業の目的（GIO）	歯周療法学および歯科予防処置論の講義、実習で習得した知識、技能をもとに、各種歯周治療における介助、患者教育、手技を習得する。
評価方法	実習に臨む姿勢、出席状況、臨床実習（見学、介助、実施）にて習得すべき全てのケースの終了、レポート提出、口頭試問によって評価する。

項　目	実 習 内 容	行 動 目 標
歯周組織検査	各歯周組織検査項目の測定および、結果の説明 歯周組織検査の相互実習、患者実習	1. 歯周組織検査の必要性、使用器具の使用法を理解し、実施する。 2. 各歯周組織検査項目について測定し、理解し、その結果を適切に説明する。
口腔内写真撮影	口腔内写真撮影の介助、相互実習	1. 口腔内写真の必要性を理解し、説明をする。 2. 相互実習を通して、適切な介助、および撮影が行えるようにする。
プラークコントロール	O'Leary の PCR の測定の相互実習、患者実習 業務記録の作成	1. 歯周治療におけるプラークコントロールを理解し、実施する。 2. 業務記録を作成する。
歯肉縁上スケーリング	歯肉縁上スケーリングの見学、相互実習、患者実習	エアスケーラー、超音波スケーラー、手用スケーラー（鎌形スケーラー）を選択し、歯肉縁上歯石除去の基本手技を理解し、実施する。
スケーリング・ ルートプレーニング	スケーリング・ルートプレーニングの見学、患者実習	適切なキュレットタイプスケーラーを選択し、スケーリング・ルートプレーニングの基本手技を理解し、実施する。
プロフェッショナルメカニカルトゥースクリーニング（PMTC）	PMTC の見学、相互実習、患者実習	PMTC の必要性を理解し、目的に応じた道具の選択、および基本手技を実施する。
歯周外科治療	歯周外科治療の見学、介助	各種歯周外科治療を見学し、施行した歯周外科治療の目的、術式、種類を理解する。
咬合調整・暫間固定	咬合調整・暫間固定の見学、介助	咬合調整・暫間固定の必要性を理解し、適切な介助が行えるようにする。
再評価検査	再評価検査の見学、患者実習	再評価検査の必要性、内容を理解し、実施する。また、その結果を適切に説明する。
メインテナンス・サポーティブペリオドンタルセラピー（SPT）	メインテナンス・SPT の見学、患者実習	メインテナンス・SPT の必要性、内容を理解し、実施する。

＜注意事項＞
1. 常に清潔を重んじた身だしなみに注意を払い、不適切と思われる髪型、化粧などはしてはならない。
2. 病院内では、私語を慎み、機敏な行動を心がけ、時間厳守とする。
3. 挨拶と返事は、はっきりとした声で行う。
4. 常に患者には気を配り、親切で丁寧な対応をする。
5. 分からないことは勝手に判断せずに、指導者に報告し、指示に従う。
6. 実習時は必ず実習帳を持参し、必要な資料を忘れてはならない。

臨地実習の内容	**補綴科（総合診断科）**
担当	歯科医師：**霜野良介**、吉野旭宏、森啓、大木絵美、髙谷達夫、岩﨑由紀子、喜多村洋幸、伊能利之、 堀内竜太郎、加藤華子 歯科衛生士：藤原彩
授業の目的（GIO）	・講義で学んだことと臨床とを関連づけ、補綴治療への理解を深める。また、高齢者の口腔健康管理と患者への対応法を身につける。 ・新患・再来新患への医療面接、口腔内診査の介助を行うことにより、歯、歯周、顎口腔領域の疾患に対する知識の習得と、患者対応を学ぶ。
評価方法	習得すべき全てのケース（見学・介助・実施）の終了、レポート提出、口頭試問にて理解度を評価する。 実習に臨む態度、積極性も評価の対象とする。

項　目		実 習 内 容	行 動 目 標
全部床義歯、部分床義歯、Cr・Br の製作過程		講義内容を参考にレポート提出、 口頭試問を行う。	1. 全部床・部分床義歯、Cr・Br の製作過程が説明できる。 2. 補綴物の種類、特徴および適応を説明できる。
印象材、セメントの取り扱い		実技実習、説明を行いレポート提出、口頭試問を行う。	それぞれの印象材、セメントの特徴を理解し、適切に扱うことができる。
高齢者への接し方		講義内容を参考にレポート提出	高齢者の身体的特徴や社会的立場を把握し、適切な対応ができる。
義歯の取り扱い 補綴患者への刷掃指導		口頭試問、実技実習を行う。	補綴治療後の術後管理の目的と方法を説明できる。
診療見学・介助		ケース項目の見学・介助を行う。	各処置の目的、術式と使用器具・器材を理解し、円滑な介助ができる。
テンポラリークラウン作製		担当 Dr の指導の下、模型にてテンポラリークラウンを作製する。	指導手順によりテンポラリークラウンを作製することができる。
余剰セメントの除去		Cr・Br の仮着後、余剰セメントの除去を行う。	適切な器具を使い、短時間で除去することができる。
義歯着脱・義歯清掃		義歯着脱、義歯の清掃を行う。	正しい義歯着脱法、義歯清掃法を身につける。
技工見学		技工作業の見学を行う。	診療室での処置と技工操作を結び付け、補綴治療の流れを理解する。
初診対応	受付補助	健康調査票の説明と受け渡し 血圧測定器の説明と測定補助	1. 健康調査票の内容を理解し患者に分かり易く説明する。 2. 血圧と全身疾患のかかわりを理解する。
	器具取扱い	器具の準備・片づけ	清潔・不潔を理解し正しく準備と片づけを行う。
	患者誘導	チェアーに患者を誘導する	適切な対応でスムーズな誘導を行う。

＜注意事項＞
1. 身だしなみは清潔にし、患者、スタッフに対しての挨拶等礼儀を大切にすること。
2. 診療の見学、介助に入る際には必ず術者に一言断ること。
3. 診療室では私語を慎むこと。
4. 実習中に診療室外へ出るときはチーフ歯科衛生士に許可を得て、戻ったときには報告すること。
5. 見学ケース、介助ケースはいずれも期日内にレポートを提出し、口頭試問を受けること。
6. ケースの数にとらわれることなく、積極的に実習を行うこと。
7. 初診患者は予約制ではないため混雑する場合がある。速やかに患者対応できるよう、歯科衛生士、担当医の指示に従い敏速に行動すること。

臨地実習の内容	**口腔外科**	
担当	歯科医師：**佐藤工**、植田章夫、**谷山貴一**、上田敬介、西田洋平、友松薫 歯科衛生士：矢島絵美	
授業の目的（GIO）	口腔外科・歯科麻酔学の講義をもとに、外科手術の際に必要な知識について理解を深め、適切な介助技術を習得する。	
評価方法	口頭試問：　①臨床ケース　　②主要外科処置・使用器材 （普通抜歯術、埋伏抜歯術、歯槽骨整形術、歯根端切除術、膿瘍切開排膿術） レポート：　①外科器材　　②小手術　　③救急処置	
項　目	実 習 内 容	行 動 目 標
清潔・不潔の概念	清潔域・不潔域 消毒・滅菌 手指消毒法	1. 清潔域と不潔域を理解できる。 2. 消毒と滅菌の違いを理解できる。 3. 適切な手指消毒ができる。
主要外科処置 ・普通抜歯術 ・埋伏抜歯術 ・歯槽骨整形術 ・歯根端切除術 ・膿瘍切開排膿術	各処置の器材準備と介助および見学	処置の目的、適応症・禁忌症、術式を理解し適切な介助ができる。
救急処置	血圧・脈拍測定法 心肺蘇生法 AED 使用法	1. バイタルサインの確認ができる。 2. 一次救命処置ができる。
精神鎮静法	精神鎮静下の外科的処置の介助	1. 精神鎮静法の適応が理解できる。 2. 鎮静下での外科的処置の介助ができる。
病棟・手術見学	病棟見学 全身麻酔下手術見学	1. 病棟での看護師の役割を理解できる。全身麻酔の適応と 2. 手術法が理解できる。
＜注意事項＞		

臨地実習の内容	**矯正歯科**	
担当	歯科医師：**川原良美**、深沢香菜子 歯科衛生士：阪西あい、宮下こずえ	
授業の目的（GIO）	歯科矯正学の講義にて習得した知識をもとに実習を行い、不正咬合に対する治療の必要性、矯正患者における保健指導、各種矯正装置や器材・器具について総合的に理解する。	
評価方法	各種実習項目について習得すべき全てのケースの終了、レポート提出、口頭試問により、知識・技能・実習態度を総合的に評価する。	
項　目	実 習 内 容	行 動 目 標
資料採得	印象練和 口腔内写真撮影	口腔内写真撮影の介助ができる。
介助実習	セメント練和・盛り付け アルジネート練和 ダイレクトボンディング法 器材の受け渡し	1. 目的に応じた適切な稠度で練和できる。 2. 治療の流れや手順を理解し、適切且つ迅速な介助ができる。
保健指導	口腔衛生指導(TBI) 口腔筋機能療法(MFT)	矯正患者における口腔衛生指導について理解し、実施することができる。
器材・器具	口頭試問	矯正治療に使用する器具・器材の名称と用途を理解し説明できる。
各種矯正装置	ケース取得後の記録および口頭試問	各種矯正装置について、名称・用途・使用方法等を理解し説明することができる。
相互実習	口腔内写真撮影	口腔内写真撮影の術者と介助者の実施ができる。
歯列模型実習	アーチワイヤー結紮実習	歯列模型を用いたマルチブラケット装置のアーチワイヤーとエラスティックの着脱、結紮ができる。
習熟度評価	口頭試問習熟度評価	矯正治療について総合的に理解し説明することができる。
＜注意事項＞ 1. 病院内においては、私語や大きな声を慎み、術者や介助者の妨げとならないように機敏な行動を心掛ける。 2. 常に気配りを心掛け患者に応対する。 3. 器具・器材には精密で高価なものが多いため、無駄な使用や勝手な破棄は控える。		

臨地実習の内容	**歯科放射線科**
担当	歯科医師：黒岩博子、**森こず恵**
授業の目的（GIO）	歯科衛生士に必要な各種画像検査法と正常解剖学について具体的に習得し、さらに放射線の安全な利用について理解する。
評価方法	実習項目、臨床見学をすべて終了し、実習記録による評価とともに、試問において理解度を評価する。

項　目	実 習 内 容	行 動 目 標
1. 感染対策	・Covid-19 関連を含めたスタンダードプリコーションについての講義を行う。 ・ガウンテクニックを体験する。	1. 手指衛生を徹底する。 2. シチュエーションごとに適切な PPE を選択できる。 3. ゾーニングを理解する。
2. 口内法エックス線撮影	・ファントムを用いて、口内法　エックス線撮影練習(二等分法)を行う。	口内法エックス線撮影法（二等分法）を習得する。
3. インスタント現像	・インスタント現像を行う。	インスタント現像を習得する。
4. 歯科用自動現像機	・歯科用自動現像機でフィルム現像を行う。	現像の過程とフィルムの構造を理解する。
5. デジタル画像処理	・イメージングプレート(IP)をスキャナーで読み取り、画像化する。	デジタルエックス線撮影システムの種類、原理、特徴を理解する。
6. パノラマエックス線撮影	・パノラマエックス線撮影を体験する。 ・パノラマエックス線写真をトレースする。	パノラマエックス線撮影の特徴と適応、正常解剖像を理解する。
7. 骨密度測定	・骨密度測定を体験する。	骨密度検査を理解する。
8. 撮影見学	・放射線検査の実際を見学する。	撮影法、撮影補助技術について理解する。
9. 放射線防護	・放射線の人体への影響、防護用具の取り扱い、歯科エックス線検査における患者と術者の放射線防護方法を実践する。	放射線の影響と健康について、理解を深め、放射線防護方法を習得し、その重要性を認識する。

＜注意事項＞
・笑顔を絶やさず、皆で協力し合いながら実習に取り組もう。
・放射線科検査室は検査機器からの放熱により室温が高くなることが多いため、年間を通し熱中症対策（脱水症予防）として、飲み物を持参し積極的な飲水を心がけること。

臨地実習の内容	**小児歯科**
担当	歯科医師：**森山敬太** 歯科衛生士：三井美幸
授業の目的（GIO）	小児歯科臨床実習は、今までに習得した知識を基に、診療補助として必要な小児の成長発育を考慮した予防指導や予防処置、治療ならびに口腔健康管理についての技術を習得する。 また、患児や保護者とのコミュニケーション、患児の対応法について知識、技術、態度を習得する。
評価方法	臨床講義、見学、相互実習、アシスタントケース、実施ケース、口頭試問および試験ケースにより、知識・技能・態度を総合的に評価する。

項　目	実 習 内 容	行 動 目 標
1. 臨床講義 ※臨地実習 オリエンテーション	1. 小児の対応法 2. フォーハンドデンティストリー 3. 咬合誘導 4. 予防処置 5. 刷掃指導 6. 食事指導	1. インフォームドコンセント、一般的な対応法、行動変容による対応法、特殊な対応法を理解する。 2. フォーハンドデンティストリーの目的と方法を理解する。 3. 咬合誘導の目的、装置の種類、適応を理解する。 4. フッ化物塗布法と予防填塞法の目的、術式、術後指導を理解する。 5. 乳歯う蝕の原因、特徴および予防法を理解する。 6. 小児の歯肉炎の種類と特徴を理解する。 7. 食生活とう蝕の関連、間食の意義を理解する。
2. 臨床見学	1. 定期健診 2. 小児の対応法 3. レジン修復（光重合） 4. 乳歯既製金属冠 5. 歯髄処置 6. 外科処置 7. 咬合誘導 8. 刷掃指導 9. 食事指導 10. フッ化物塗布	1. 診査の項目、方法、記録について理解する。 2. 小児の対応法（主に声掛け）を理解する。 3. 治療内容を把握する。 4. 治療の術式や使用器材を理解する。 5. フォーハンドテクニックを理解する。 6. 器材準備および片付け方法を理解する。 7. 術後指導の内容および方法を理解する。 8. 患児や保護者とのコミュニケーションの必要性、方法を理解する。 9. 指導の流れを把握する。

3. 介助ケース	1. 定期健診 2. 小児の対応法 3. レジン修復（光重合） 4. 乳歯既製金属冠 5. 歯髄処置 6. 外科的処置	1. 口腔内診査結果の記録を行う。 2. TSD法に準じた声掛けを行う。 3. 器材準備、点検、片付けを行う。 4. カートリッジ注射器の取り扱いを理解する。 5. フォーハンドデンティストリーによる介助を実施する。 6. 治療の流れに沿った器具の受け渡しを行う。
4. 実施ケース	1. 定期健診 2. 刷掃指導 3. 食事指導 4. フッ化物塗布	1. 診査項目に従って口腔内診査を行う。 2. 清掃状態と歯肉の健康状態を観察し把握する。 3. 咬合状態の観察をする。 4. 小児、保護者に対するブラッシング指導を実施する。 5. 適切な清掃用具の選択および指導を実施する。 6. 幼若永久歯（第一大臼歯を中心）のプラークコントロールの方法を指導する。 7. フッ化物の取り扱いを理解し、指示に従って塗布を行う。 8. 注意事項の説明をする。 9. 歯科保健指導記録を記載する。
5. 試験ケース	1. 定期健診 2. 小児の対応法 3. レジン修復（光重合） 4. 乳歯既製金属冠 5. 歯髄処置 6. 外科処置 7. 咬合誘導 8. 刷掃指導 9. 食事指導 10. フッ化物塗布	1. 乳歯と永久歯の違いを理解する。 2. TSD法に準じ、術者と協調した声掛けを行う。 3. 安全の確保を行う。 4. 適切に器材準備、点検、片付けを行う。 5. 適切かつ安全にカートリッジ注射器の取り扱いをする。 6. 適切なフォーハンドデンティストリーによる介助を実施する。 7. 治療の流れに沿った適切な器具の受け渡しをする。 8. 指示に従った指導を実施する。 9. 適切に指導記録を記載する。 10. 適切な歯面清掃を実施する。 11. 指示に従い適切なフッ化物の取り扱いの下に塗布する。 12. 適切な術後指導を行う。
6. 相互実習	1. フッ化物塗布 2. 予防填塞 3. う蝕活動性試験	1. 術者磨きを実施し、仕上げ磨きの指導に生かす。 2. ラバーダム防湿を実施する。 3. 術式および処置の流れを確認しながら実施する。 4. CAT21 Fast、CAT21 バフの検査の目的・使用法を理解する。
7. 口頭試問	1. 定期健診 2. 小児の対応法 3. レジン修復（光重合） 4. 乳歯既製金属冠 5. 歯髄処置 6. 外科処置 7. 咬合誘導 8. 刷掃指導 9. 食事指導 10. フッ化物塗布 11. 予防填塞	[診療補助] 1. 試験ケース症例で出題されるレポート課題に関する口頭試問を受け、合格する。 [保健指導・予防処置] 1. 登院前に課題を記入する。 2. 登院後口頭試問を受け、合格したら実施ケースおよび試験ケースを行う。
＜注意事項＞		

臨地実習の内容	**地域連携歯科**
担当	歯科医師：**山上裕介** 歯科衛生士：西澤恵美
授業の目的（GIO）	スペシャルニーズのある患者の歯科診療に参加することにより、基本的知識および臨床技能を習得し、各障害に対する対応や口腔保健指導の知識を修得する。
評価方法	1. 主要な障害について所定の症例数を見学、診療補助後、ケース表を提出し試問を受ける。 2. 歯科診療に参加し診療の器材準備及び術式に沿った診療補助が出来ているか評価する。

項　目	実 習 内 容	行 動 目 標
スペシャルニーズのある患者との適切なコミュニケーション技能と倫理的態度	適切なコミュニケーション、スペシャルニーズのある患者への配慮、トランスファー、医療人としての倫理的態度	スペシャルニーズのある患者との適切なコミュニケーション技能と倫理的態度を習得する。
行動調整の実際	行動変容技法（診療補助） 笑気吸入鎮静法（診療補助） 静脈内鎮静法（見学） 全身麻酔科集中歯科治療（見学） 身体抑制法（診療補助）	歯科診療に参加し、どのような行動調整法がなされているのか理解する。
障害についての理解	知的障害（診療補助） ダウン症候群（診療補助） 自閉スペクトラム症（診療補助） 脳性麻痺（診療補助） 精神・神経疾患（診療補助） 循環器疾患（診療補助）	歯科診療に参加し、各障害の特性と対応、口腔内の特徴を理解する。
口腔保健指導	ブラッシング指導（実施）	スペシャルニーズのある患者の口腔保健管理上の問題点を把握し、患者に適した口腔保健指導を患者あるいは保護者・介助者に実施する。
感染症患者の実際	HBV、HCV、HIV 患者などの歯科的配慮点（見学）	各感染症を理解し、感染防止対策の方法、消毒・滅菌について理解する。
摂食・嚥下	診査、検査、評価、訓練など一連の流れ（見学）	摂食・嚥下リハビリテーションの臨床を学ぶ。

＜注意事項＞
・患者のプライバシー保護には十分注意する。
・臨床実習生の立場をわきまえ、身だしなみ、言動、行動などに気をつける。

臨地実習の内容	**重度心身障害者巡回臨地実習**	
担当	歯科医師：松本歯科大学病院　地域連携歯科 歯科衛生士：松本歯科大学病院　地域連携歯科 衛生学院教員	
授業の目的（GIO）	障害者歯科学の講義を基に、障害者への対応を学び、障害を考慮した歯科検診の介助と口腔清掃指導法を習得する。	
成績評価	実習記録の提出状況およびその内容、出席状況と実習態度から総合的に評価する。	
項　目	実 習 内 容	行 動 目 標
1. オリエンテーション	実習の目的 実習内容 チャートの記入方法注意事項	1. 実習の目的・内容を述べることができる。 2. 口腔内診査用紙の項目について理解し、記録できる。 3. 実習の注意事項を述べることができる。
2. 実習の流れ	診査の準備 口腔内診査時のチャーティング 応急処置時の器材準備・介助 ブラッシング指導 ブラッシングプログラム記入 後片付け 施設見学 反省会	1. 実習の目標を立てることができる。 2. 歯科検診に必要な器具・器材を準備できる。 3. 清潔・不潔に留意して検診の介助ができる。 4. 障害に応じた対応ができる。 5. 口腔内診査結果を正しく記入できる。 6. 応急処置時の介助ができる。 7. 障害者の口腔内状態・ブラッシング状況を把握することができる。 8. 障害を考慮した指導法を選択することができる。 9. ブラッシングプログラムを正しく記入できる。 10. 口腔ケアにおいて、施設職員と連携する重要性が理解できる。 11. 実習の内容を振り返り、課題を挙げることができる。
＜注意事項＞ ・疑問点等は担当歯科医師・担当歯科衛生士・教員に尋ねること。		

臨地実習の内容	**1 歳 6 か月児健康診査実習**	
担当専任教員	竹岡亜紀	
授業の目的（GIO）	1 歳 6 か月児健康診査の意義を理解し、関連職種の連携および対象児・保護者への対応を学ぶ。	
成績評価	事前レポート・実習記録の提出状況およびその内容、出席状況、実習態度から総合的に評価する。	
実習施設	塩尻市保健福祉センター	
項　目	実 習 内 容	行 動 目 標
1. 実習の流れ	実習準備 健診見学 実習記録作成 カンファレンス	1. 実習の目標を立てることができる。 2. 健診手順を説明できる。 3. 保健師および歯科衛生士による集団指導の主旨を把握できる。 4. 集団指導での媒体の活用法を説明できる。 5. 保健師および歯科衛生士の受診児と保護者への対応について述べることができる。 6. 歯科健診の記録方法を説明できる。 7. 一巡したあとの見学方法を決めることができる。 8. 受診児の年齢に応じた対応ができる。 9. 保護者への配慮ができる。 10. 疑問点等を質問できる。 11. 実習内容を振り返り課題を挙げることができる。
2. 健診の流れ	受　付 お　話　：保健師・歯科衛生士 問診・発達チェック 歯科診察 計　測 内科診察 相　談 終　了	
＜注意事項＞ 1. 保護者に了解をとり、受診児とその保護者に同行し健診の流れを体験する。 2. 快く承諾してくださった保護者の方に失礼のないように接する。 3. 疑問点等については、健診終了後のカンファレンスの際に遠慮なく尋ねること。 4. 実習には、目的を持って臨むこと。		